

会 議 録

会議の名称		第5回（仮称）つくば市陸上競技場整備基本計画策定検討会議		
開催日時		令和5年(2023年)9月26日 開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所		つくば市役所 会議室 201		
事務局（担当課）		市民部スポーツ施設課		
出席者	委員	有田智一委員（座長）、香田泰子委員（座長職代理）、 大山卞圭悟委員、宮本恒男委員、富田竜夫委員、 浜中勝美委員、木村清隆委員、長塚俊宏委員、 柳下浩一朗委員、遠田玲子委員		
	その他			
	事務局	大久保市民部長、池畑市民部次長 武笠スポーツ施設課長、大谷課長補佐、瓜阪係長、 島田係長、小池主任、今泉主事、雨宮主事、		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		（仮称）つくば市陸上競技場整備基本計画について ・基本計画の策定スケジュールについて ・基本計画（案）について		
会議次第	1 開会 2 議事 （1）基本計画の策定スケジュールについて （2）基本計画（案）について 3 閉会			

様式第 1 号

< 審議内容 >

1 開会

2 議事

(1) (仮称) つくば市陸上競技場整備基本計画の策定スケジュールについて

座長：議事(1)の「基本計画の策定スケジュールについて」の御説明お願いいたします。

事務局：資料 1 について説明。基本計画のスケジュールの延長に伴い、委員の任期（令和 5 年 11 月 30 日）の延長について説明。

座長：ありがとうございました。ただいま御説明いただいた内容について御質問、御意見等ございますか。

(意見なし)

(2) 基本計画（案）について

座長：それでは次に、議事(2)の「基本計画（案）について」を事務局から御説明をお願いいたします。

事務局：資料 2、3、4-1、4-2、4-3、5-1、5-2 について説明。

資料の説明は以上となりますが、陸上競技場の整備について、これまでの経緯をあらためて御説明いたします。陸上競技場の整備については、皆様に御議論いただいている基本計画以前から、市では様々な検討を行って参りました。

平成 27 年に策定した「(仮称) つくば市総合運動公園基本計画」では、高エネ研南側の約 45.6ha の土地に、陸上競技場のほか、体育館、サッカー場、テニスコート等の施設を整備する計画でした。しかし、総事業費が約 300 億円を超えること等から、計画の賛否を問う住民投票が行われ、約 8 割の反対という結果を受けて計画は白紙撤回となりました。

これを受けて、平成 29 年に当該事業の調査・検証を行うため、「総合運動公園事業検証委員会」を設置し、検証が行われ、結果報告書が提出されました。

この報告書では、市が当該事業を進めるに当たり「不正や個人的動機はなかった」が、「大規模な事業にも関わらず、拙速に進められ、かつ、市民や議会に丁寧な説明がなかった」、「執行部は民意を把握しきれなかった」等の問題があったことが指摘されました。今後の市政運営に関して「大規模事業については民意の把握を適切に行い、市民の直接的な要請に基づくものではない事業については市民への説明を十分に行うこと」、「事業計画、基礎的検討の段階での議会への適切な報告を行うこと」等、7つの項目の提言がされ、今後、市が行う大規模事業の進め方に関する教訓として活用すべきとされました。

そこで市では、大規模事業の実施に当たっては、民意の適切な把握を行い、事業の必要性、妥当性等について、市民や専門家からの意見等を求めた上で、慎重に事業の対応方針を決定するために、平成 30 年に「つくば市大規模事業の進め方に関する基本方針」を定め、市が主体で実施する総事業費が 10 億円以上の施設整備事業については、外部の有識者で構成された「つくば市大規模事業評価委員会」に諮問し、答申を受けることとなりました。

陸上競技場の整備については、令和 3 年に策定した「(仮称)つくば市陸上競技場整備基本構想」において、概算事業費を約 22 億円と算出し、校舎の解体・撤去費用やセミナーハウスの整備費用の約 5 億円を加えた約 27 億円の概算事業費について、「つくば市大規模事業評価委員会」に諮問しました。結果、「概ね妥当」との答申を受けたことから、陸上競技場の整備を進めることとなり、現在に至っています。

以上のような経緯を踏まえて、本日の会議では、陸上競技場のメインスタンドの規模や付帯する機能について、3つの案を御提示しております。

まず、令和 3 年度に市としての基本的な考え方をまとめた基本構想を基に、物価上昇率等や金額の精査等により見直ししたものが α 案となります。

次に、これまで 4 回開催した策定検討会議で出された御意見・御提案や、4 月から 6 月にかけて開催した 2 つのワークショップから出された御意見・御

提案を基に、特に必要だと思われる重要な機能を拡充させたものがβ案となります。

そして、β案からさらに施設の規模や機能を最大限拡充させたものがγ案となります。

なお、市としては、これまでの経緯や大規模事業評価委員会の提言を踏まえ、今回建設する陸上競技場は、当初の議論の出発点であり基本構想にも示されている「小中学生の公式記録が取れる陸上競技場」という原点に立ち返ることが必要であると考えています。関係者にとっての理想の陸上競技場の構想があっても、陸上競技場の建設に関心の無い市民にとっても少なくとも一定程度の納得感がなければ、以前の総合運動公園事業の進め方の反省を活かすことにはならないと考えておりますし、建設費があまりに高騰すれば陸上競技場自体の建設を難しくしてしまうことも想定されます。それらを考慮し、市としてはα案がベースになると考えております。

また、計画の推進には議会の承認が必要になります。みなさまの御意見を踏まえ議会にも情報共有し御意見をいただきながら、さらに市民の御意見も伺った上で進めていくプロセスとなりますので、どうぞよろしく願いいたします。

座長：ありがとうございました。ただいま御説明いただいた内容について御質問、御意見等ございますか。

委員：説明ありがとうございます。ちょっと説明で見えない部分を先に聞いてよろしいでしょうか。γ案にはスロープがあるということだったのですが、イメージ図ではちょっと見えないので、どこにスロープがきているのかを教えていただきたいということと、もう一つは、多目的広場とバックスタンド側にそれぞれ80m×5のレーンの雨天走路ができて、屋根が付くことになっているのですが、バックスタンド側の方はイメージが見えるのですが、多目的広場の方の大形屋根というのは同じイメージでいいのですか。

事務局：まず一つ目の御質問のスロープにつきましては、御指摘いただいたと

おりイメージ図の方には反映をしておりません。スロープの傾斜角度や長さについて、まだ厳密に構造計算等までしていないため、図の方に反映させることができませんでした。イメージとしましては、競技場の後ろ側の部分にスロープを設けるような形とっております。

次のバックスタンド側の雨天走路等につきましては、今お話いただいたとおり、80m分の屋根が付く形となっておりますけれども、多目的広場の方につきましては、雨天走路全面ではなくて、その端の方に20m×20mの屋根を付けるような形を考えさせていただきました。このような形がよろしいかなと思ひまして、御提案をさせていただいております。

委員：スロープは予算に入っていますか。

事務局：はい、γ案の予算にはスロープ分を入れております。

座長：ありがとうございました。今日御欠席の委員から御意見をいただいているということですが、御紹介いただけますでしょうか。

事務局：はい。御欠席の委員から御意見いただいております、御紹介いたします。

資料を拝見させていただいて感想としまして、まず本競技場をどの程度活用させていくかが重要かなと感じております。ハード面ではなくソフト面の充実も重要になるかと思ひます。どのような活用のされ方、大会での使用、日常での使用、が考えられるのかを想定しておくのも重要かなと思っております。アクセスが悪いというハンデがあるため、利用者呼び込む「売り」がなければ、閑古鳥が鳴いてしまうような状態になることが危惧されると思ひます。様々な競技会を開催し、多くの人々の来場を想定するのであれば、観覧席の充実度を高めたほうがいいと思ひますし、多数の来場者が見込まれるのが市の中学校大会で使用するときだけなのであれば、割り切ってシンプルな観覧席でも良いかなと思ひます。また、ウェイトトレーニングルームやナイター施設については、あった方が良いのは間違いないのですが、果たしてどれほど活用されるのか、利用者がいるのかが懸念事項になると思ひます。例えばトップアスリートの練習拠点にしてみらうであるとか、多くの利用者

が見込めるのであれば、あった方が良くと思います。私の知る限り、いくつかあるつくば市の陸上クラブは、練習場所の確保に苦慮しているような印象を抱きます。ナイター設備があつて夜の活動もできるとなると、陸上競技の活性化に繋がるのではないかなと思います。これらのことから、あまり活用されないことが想定されるのであれば、ある程度収容できる観客席、800席ぐらいで、屋根と十分な駐車場があれば十分だと思います。ある程度の規模の競技会を開催することが想定するならば、雨天走路やウォームアップ場は間違いなくあった方がいいと思います。トレーニングルームやナイター施設については、似たような施設であるつくばウェルネスパークの利用状況等を参考にしながら、設置を検討するのも良いかと思います。

以上の御意見をいただきました。

座長：ありがとうございました。その他皆様の御意見等お願いいたします。

委員：この資料を作るのも大分御苦勞があつたかなというふうに見られますけれども、金額、建設費用ということになると、最初の基本構想から考えますと、γ案というのは約倍近い費用ということにはなりますよね。それで、このβ案やγ案で一番重要なのは多分、障害者対応についてなのかなと感じます。もちろん費用をかければより良いものができるということはこの資料で十分わかるころではありますけど、私などは先ほど説明にあつた総合運動公園基本計画というのがありまして、陸上競技場をもちろんメインに、他のスポーツ施設も合わせて作ろうじゃないかという計画が一度上がったわけですが、ここ上郷地区が最適じゃないかと選ばれた理由も、そこにはあるのかなというふうには感じています。当然、陸上競技場だけをここに作ればいいという考え方ではなくて、将来的には体育館であつたり、他にいろいろな野球場であつたりラグビー場であつたりという広がりがある可能性としてあるのであれば、もちろん考え方は小中学生の記録が取れるということが基本の中の基本なのでしょうけれども、やはりここは余りにも簡素化した陸上競技場を作っても、多くの方々に使ってもらえるかどうか、ということはあるのかと思います。そういうことであれば、ある程度のコストがかかって

も、しっかりとした陸上競技場を作る。そして、将来的にスポーツができる上郷地区というところを目指したほうがいいのではないかと思います。ただこの中で、 α がいい、 β がいい、 γ がいい、と私も答えが出ないのですけれども、考え方はやはりそこが大事なのかなというふうに思います。

座長：ありがとうございました。

委員：市の案は α 案ということで先ほどお話ありましたけれども、少し地域の部分も含めて良いものを作る必要があるのかなと考えているところです。その上で、大規模事業評価の中でも、事業の経済性とか効率性の中で、今後の設定条件の整理を踏まえて基本計画、基本設計等の検討が進んだ際に、事業費の見込みが増えた場合の意思決定プロセスをあらかじめ設けることが望ましい、という意見もありますけれども、そういった部分も踏まえて、今後この三つの案について検討していった方がいいのかなと思います。

座長：はい、ありがとうございます。

委員：まず、細かい資料の作成ありがとうございました。全部比較できますので非常にわかりやすい資料かなと思います。

α 案と β 案、 γ 案を出されました。基本構想もありますけれども、私としては、陸上競技場というのは平日ほとんど利用されているのを見ていません。土日いろいろなイベントで使われるのですね。だからといって施設を簡単にすればいいというものではないです。当初、小中学生の競技会・記録会を、つくば市でできるようにするというのが一つの目的で競技場整備の話が出たかと思います。ただそれだけではちょっと寂しいかなと思いますので、例えば鬼ごっこ大会とか、あるいはスポーツフェスティバルとか、いろいろなイベントが開催できるといいと思います。

その中で、今年は暑かったですよね。極めて暑かったです。炎天下の中で、とても競技会を開催する気にはなりません。何を言いたいかというと、やはり夜も利用できるような設備が欲しいなと思うのですね。陸上競技場は大会や記録会だけじゃなくて、その他の種目も活用できます。スペースが広いですから、例えばサッカーとかですね。そうすると、夜もできるのだなと

例えば、かなり利用者も増えるのかなと思います。そういう意味で、 α 案はあくまでベースですけども、そこにある程度の施設を、少々お金はかかるかもしれませんが、プラスアルファでできないものかなと思うのですね。その辺を検討できればいいかなと思います。

座長：ありがとうございました。他いかがでしょうか。

委員：障害者の方とも大分関わるようになって、もう30年来の付き合いになるのですが、市のバックアップで小学校を借りていろいろな体験学習をやるのですが、私の恩師が、障害者と健常者は分け過ぎてはいけないのだよ。地域で触れ合わないと理解も進まないのだよ、と言ったのがすごくあって、それからずっと障害者教育をやりたいなと思って進めてきました。障害者手帳をいただいて障害者になり、そうするとまた見えないものが見えてきたのですが、私はできたらこの上郷で、障害者が運動をしながら皆さんと繋がって、子供たちが幼なじみのような関係になることをやっていきたいなとずっと思っていました。地域型スポーツってということで、陸上ももちろん大事なのですけれど、年1回の大会だと2,000人ですが、毎日30人の利用だったら1万人になります。これから部活も地域移行になると、ここが受け皿になって、陸上クラブはすぐできると思います。たくさんの専門家がいるので、できたら障害者も一緒にやっているような、そんなことを夢見ています。だから、できたら障害者にもやさしい設備にしていきたい。私は具体的にはこの中では β 案が良くて、どうしてもお金が足りないという場合には、この中で削るということで考えたのが、メインスタンド分棟の地域の交流拠点、バックスタンドの観客整備費、それから多目的広場の雨天走路。この3つ全部で4億円ぐらいになるのですが、これがもしカットできたら相当 α 案に近くなるのではないかと思うのですよね。この3つは他のことでも代用できるのではないかと自分では考えていました。あればもちろんいいのですけれど、この3つに関して、代わりができないかということと、それは本当になければならないのか、ということをもう少し考えていただきたいという提案です。

様式第1号

座長：ありがとうございます。もう1回その3つおっしゃっていただけますか。メインスタンド分棟の地域交流拠点、300席の屋根付きバックスタンド、それから多目的広場の雨天走路ですね。

委員：5レーンの雨天走路と大型屋根はもちろんあったほうがいいのですが、子供たちのことを考えたら、多目的広場があれば走ることはできるし、屋根がなくても、別に陸上大会本番は雨の中でも走っているの、という感覚で削っても仕方ないかなと思っております。一応見た感じでは、その3つは削ってもいいのかなと思います。

座長：ありがとうございました。

委員：今、委員からのお話があったのでちょっと申し上げにくいのですが、ここは何か、ニュートラルに本当に必要かどうかというところで考えたいと思うのですが、市の方からはα案を基本でというお話があって、その部分も状況はお察しするのですが、最終的にどの案を中心に考えるとしても、重要だと思うのが雨天の対応なのです。屋根付きのスペースを確保する必要があるのではないかと考えています。それは、一つは競技会の時にどうかという問題よりも、例えば競技会は毎週毎週開催されるということはなかなかないと思うのですが、この広いスペースを利用したイベントが開かれる時に屋根付きのスペースがある場合とない場合とで、天気によって中止というようなパターンが屋根付きのスペースがあることで減るのではないかと思います。イベントの規模にもよりますが、例えばこのスペースを利用して教室を開こうというような時に、雨天になったらもうやれないというようなことが起こってしまって、実際私をつくば市の方でも機会をいただいて、陸上の教室を開いたりすることがあるのですが、雨天の対応というのはすごく気を使います。雨天の対応ができない施設で計画したときは、雨が降ったらもうやれないとか、延期とかいうようなことになるのですが、ある程度の屋根付きのスペースがあることで、その辺りの心配がかなり少なくなります。もちろん雨の時の避難場所になるという点もありますし、また災害の際の避難場所にもなり得るということもあ

ります。それから、委員もおっしゃいましたけれど、今年は非常に暑かったですけれども、暑い時に日陰に逃げられるところがあるというのが重要だということ、それからこの気候で雷ですよ。雷だけは、突然利用者の命を奪う危険がある問題ですので、そういうものに対応する上では、β案には屋根付きスペースがこのグラウンドの外のところで作られておりまして、あとγ案にはバックスタンドのところにありますけれども、β案の屋根付きスペースの2倍から3倍ぐらいのものがあればいいなと思いました。あまり具体的に大きさの問題とかを申し上げるところではないかもしれないのですけれども、雨天の対応というのは、一つはイベントとかここで行われるイベントの開催が大きく左右される、すなわち市民の方にとっての機会が確保されなくなるところに大きく影響を及ぼす施設だということですね。それから安全に関して言っても、暑さの対策とか雷の対策とか、そういうものに対してもかなり柔軟にやれるという面はあるのではないかと考えまして、その点についてはぜひ確保する方向で進められたらいいなと希望を申し上げたいと思います。長くなりました、以上です。

座長：はい。今の御指摘の点について、私は素人なのでよくわからないのでお伺いしたいのですが、屋根付きのスペースが当然あったほうが良いと私も個人的に思うのですが、α案で観客席の方には屋根付きのスペースがあるのですが、それだけでは不十分ということですか。

委員：避難の面では屋根付きのところでは十分なのですが、例えば、走りのイベントとか体ほぐしのイベントとか、それからジョギングなんかでもそうですけれども、屋根があつて体が動かせるようなスペースというのが重要で、スタンドに屋根は広くついても、なかなかスタンドで体を動かすというわけにいかないものですから、屋根があつて体が動かせる場所があるということが重要なのではないかなと考えます。

座長：はい。事務局からよろしいですか。

事務局：屋根の話につきまして少し補足の説明を申し上げます。屋根につきましては、大山委員にファシリテーターとなつていただいた「陸上競技・大会

運営に関するワークショップ」もそうですし、香田委員にファシリテーターになっていただいた「障害者スポーツ、バリアフリーに関するワークショップ」でも、ともに屋根の重要性につきましては、御意見をいただいております。例えば1,000～2,000人ぐらいの参加者いたとしまして、急に雨が降ってきたときにその1,000人～2,000人の方が、どこに雨宿りをするといった場合に、例えば倉庫の中とか、バックスタンド側に避難する場所があってそこを雨避けにするとか、そういった御事情を拝聴しておりましたので、例えばβとγ案につきましては、メインスタンドの中には、さほど人数が入れないので、分棟の会議室であったりピロティ広場であったり、そういったところに、ある程度の人数も収容できると想定されますし、多目的広場にも屋根付きのスペースを設けておりますので、そちらの方にもいざという時に雨避けになるのかなと考えており、入れさせていただきました。

γ案につきましては、さらにバックスタンド側にも屋根付きの雨天走路を取り入れておりますので、相当な人数が避難をすることができると考えております。また観客として見る側の立場の方にしましても、特に障害者の方で電動車椅子をお使いの方ですと、車椅子が雨で濡れて壊れてしまうという危険性もあるということで、屋根はぜひ設置してもらいたいという御意見もありましたので、なるべく多めに設ける必要があると感じておりましたので、βとγ案につきましては、特にその屋根につきまして機能を拡充させていただきました。補足の説明は以上です。

委員：バックスタンドの観客席ですけれども、先ほど必要ないのではないかというようなお話がありましたけれども、私はやはりバックスタンド側に屋根付き観客席があると、すごく避難にも使えると思います。龍ヶ崎の競技場にも、バックスタンドの観客席が作られたのですが、非常に好評です。その下も避難箇所に使えますので、あるいは暑さ対策にも使われています。先ほど委員からもありましたように、雨対策もありますし、雷対策もありますし、暑さ対策もありますし、そういう意味で観客席の下が使えるというのは非常に便利なのですね。多少費用はかかるかもしれませんが、バックスタンドの

方に一つ観客席、それほどの大きな観客席でなくても構わないのですが、あれば来られた人にはすごく好評かなと思います。今回メインスタンドの観客席を減らしていますので、その分をこのバックスタンドの方に回られる方もいると思います。またバックスタンドの方がレースを見やすいです。そういう意味で、バックスタンドの方の観客席は、ぜひ作って欲しいなという気持ちがいたします。ただその下に雨天走路となると、また費用がかかるということですので、それは検討が必要かなと思います。下は競技会参加者の待機やウォーミングアップに使えるのですけれども、あればそれは便利ですけれども、その辺はちょっとまだ検討をする必要があるかなと思います。ワークショップでも、ここはぜひあったらいいなという希望が多かったかなと思います。以上です。

委員:今、屋根問題が上がっているかなと思うのですが、中学校の利用として考えると、一番はやはり、5月の大会、そのあと6月、9月、10月の大会を考えると、雷が一番怖いのですね。中学校として何を一番考えるかというところ、大会を運営する際にこの陸上もそうですけれども、サッカーとか野球も、雷が鳴ったらどこに避難をさせるか、ということが一番メインになってきます。そうすると、会場によっては、例えば近くに体育館があって使えるとか、あるいは大きな建物があるところは事前に話をして、そこに逃げるようにしてあります。建物が全然ないところは、大型バスを待機させておいて、大型バスにすぐに逃げ込むような体制を取っています。雨に濡れてしまうのは、正直仕方がないと考えています。ただ、子供たちの安全面を考えると対策をしなければいけないわけで、その時に、どんな対応ができていくのかというのが一番大事になってくるかなと思います。ですから、屋根は、本当にあった方がいいかなと思います。

それともう一つは、医務室が動線的に競技場に面してあることが、中学校としては一番必要かなと思っております。どうしてもけがとか、それに対して素早い対応が取れるのかどうかというのが、学校経営上も一番大事なところで、普通の学校であっても保健室がすぐに外に対応できる位置にある、動

線がしっかりできているの、というのが非常に言われているところでもありますので、中体連としては、その2つの部分を考えていただければと思っております。以上です。

座長：ありがとうございました。今いろいろ重要な御指摘が出てきたかと思うのですが、事務局の方でその辺りの考えとか見通しをお話いただければと思うのですがいかがでしょうか。

事務局：今回御提案した3つの案につきまして、金額的にはα案が一番低く、γ案が一番高い状態ですけれども、この上はいくらでもあります。機能をもっと拡充させたり、良い素材を使ったりすると、この上はあるのですけれども、やはり予算ベースのことを考えると、御提示できるぎりぎりの金額がこの3つということで御提示させていただきました。一番悩ましいのは、とても素晴らしい施設を作ったあとに、こんな過大な施設を作る必要があったのかというような御批判を後々受けることがあってはいけませんし、余りにも簡素な施設を作って、実際に使用される方から使いづらいというような御意見をいただくことも非常に心苦しいです。そういった中で、どのようなプランにするのがよいのか、というところを考えながら御提示させていただきました。その我々の悩みを、今皆様に共有させていただいているところでございまして、皆様の方でもこちらの事情を勘案していただいて、いろいろお考えをお話しいただいているのだと思います。

屋根につきましては、委員からもお話あったように、雷の時の対応ということがたいへん重要かなと思っています。例えばβとγ案では、バックスタンド側と多目的広場側にも屋根を設けさせていただきましたけれども、やはり雷の対応となるとそれなりの建物である必要があるのかなと思います。そうすると、実際に雷があつて避難するといった場合には、例えばβ案で申し上げますと、メインスタンドもちろんそうですし、両隣に分棟が2つありますのでこちらにも避難が可能ですし、あるいはバックスタンドの少し下側に倉庫300㎡と書いてありますけれども、いざというときにはある程度人数が避難できるのかなというところで、やはりこういった建物での避難場所とい

うものがどうしても必要になるのかなと思っております。

あと、医務室の位置に関する御指摘もありました。α案とβ案に関しましては、メインスタンド1階部分のスペースが、どうしても観客席の裏側になってしまって、例えばβ案の平面図を御覧いただきますと、オレンジ色になっている医務室が裏側に面しております。御指摘あったように、競技場に面していない場所にあるので、やはりこういった機能を前面に出すとなると、γ案のように1階部分が全て部屋になれば可能だと思いますし、例えばこの医務室の部分を分棟側、ウェイトトレーニングルームやピロティ広場となっている所や多目的会議室となっている所に移すことも、あるいは可能なのかなと考えられますので、柔軟に対応したいと思っております。その他、競技場側に面した方が良い機能があれば、場合によってはこの分棟の方に移動させるということも、考えられると思っております。以上です。

座長：いいですか。はいどうぞ。

委員：今ちょうど医務室のことでお話が出たので、もしかしたら参考になるかもしれないと思ってお話するのですけれども、やはり医務室がグラウンドに面していることは重要だと思います。救護等にも関わることがあるのですけれども、実際に医務室に搬送してとか、搬送が間に合わないようなときは医務室からドクターが出て対応するのですけれども、やはりグラウンドを見ているところから動くというのがやはり適切だと思います。例えば新国立競技場ですけれども、これまで医務室は比較的このホームストレートの中央から後半付近にということが多かったのですけれども、新国立競技場ではかなりゴール寄りになっておりまして、ゴール寄りのグラウンドに面したところに、出口もグラウンド側にも通路側にもあるような形で設置されています。実際に救護で出てみると、もちろん陸上競技場はグラウンドのいたるところで、搬送を要するような障害が起こることはあるのですけれども、実際にはゴールの周辺が一番多いのですよね。ゴールの時に倒れて動けなくなった、ゴール後に動けなくなった、場合によってはそのポストイベントコントロールのところ動けなくなった、というような例が非常に多いです。そういう

様式第1号

意味では、先ほど事務局からも説明があったように、例えば α 案でも分棟の辺りに医務室があるようなパターンも十分考えられるのではないかなと思います。実際に大きい競技場でも、ゴールに近いところでグラウンドに面したところに設置しているような例があるということをお知らせしようと思いましたが。

座長：ありがとうございました。重要な御指摘かと思いますが、今後その辺りも御検討いただく余地ありますか。

事務局：はい、検討いたします。

委員：資料を見て最初に思ったのは、選手も競技役員も扱いやすいという観点で見た時に、 α と β 案について2階に本部室があるのでちょっと使いづらいかなと思いました。やはり1階にあった方が、役員も出入りがすぐできます。あと、よく走り幅跳びの選手の控え室とか、あるいは100mの選手がスタート前に控える場所を考えたときに、やはり一階にそういう場所があったほうが良いかなと思いました。 γ 案は3階席までありますけれども、3階までは必要なくて、1階が管理棟で2階に観客席があるような、もしプランを立て直すのであれば、その辺を検討してもらえばと思います。

座長：今2人の委員からの御指摘ありましたが、いかがでしょうか。

事務局：医務室の話につきましては、競技場に面した場所にあるということの重要性を理解することができました。先ほど申し上げたとおり、 α と β 案では、今は後ろ側になっていますけれども、医務室を前にすることは検討する必要があると考えております。

メインスタンドの高さについてですけれども、例えば γ 案の平面図を御覧いただいて、 γ 案は1階部分が全て部屋になっていまして、2階から観客席になっていますけれども、ある程度の傾斜が必要となりますので、2階部分からスタートしてある程度の傾斜で必要な席数を確保するとすると、結果的に3階部分相当になってくるというような状況になっております。席数も1,200席としておりますので、それなりの奥行きや横幅が必要になってくるので、結果的に3階建てになっていると想定されまして、これを2階にする

ことができるかどうかというのは、非常に難しい御質問なのかなと思っております。γ案のメインスタンド平面図では、緑のラインで引かれたところが2階部分になるのですけれども、ここだけで観客席数は1,200の半分の600席ぐらいだと思うのですけれども、席数を設けるに従ってそのままだんだんブルーのラインの方が必要になってきておりますので、緑色の一番低いところとブルーの一番高いところを比べますと、そこだけで2階分の階数に相当すると思いますので、エレベーターの階数的にも3階になると考えられます。委員のおっしゃるところを、どうにかできないのかなと考えてはいたのですが、階数的に2階だけに収めることが少し難しいというところが現時点での見解です。

委員：お金があったらぜひ良いものを、もうどうしても無いのであればということと言ったのですけれども、まずは雷に対するリスク管理と考えて、避難先でここに逃げられますよ、ということは分かるのですが、そうするとここはどのくらい人が入るかというのも一応出していきたい感じがします。例えば多目的集会所や会議室は、そういう意味合いで作るわけだから、そういう利用がどれだけあるのか、どんな見通しなのかということが無いのでしたら、やはりお金が無いのでしたら仕方ないと思っております。例えば近くには、上郷児童館とか上郷小学校も教室はたくさん持っています。これは縦割りで難しいのかもしれないけど、地域の公共施設の余っているものを使えば、十分会議とか集会所としても使えるし、上郷児童館にはちょっとした運動できる小さいスペースもあります。だけど平日は児童が放課後來ますけど、昼間と土日はほとんど使っていないです。だからあるもので代用できるものは、無くてもいいのではないかな。もしお金があるのでしたら、良いもの作っていただきたいのですが、あるものをもっと活用したほうが良いのではないかな、というのが私のアイデアです。そういう意味ではウェイトトレーニングルームとかピロティ広場も、どれだけ需要があることを考えて、実際使われるのか、そうではなかったら別にそのことは他で代用もできます。そういうことを少し考えていただければなと思います。以上です。

様式第1号

座長：ありがとうございます。

委員：それぞれ委員の皆様からの御意見、医務室の件、この夏の暑い対策をどうしようとか、本当になるほど、確かにと思うような御意見ばかりです。昔のイメージでの最低限必要な陸上競技場ということだけでなく、新しい科学技術も確認した中で取り入れるべきだなと思っておりますけれども、その中でできるだけ安く作るということが大切なのかなと思います。でも、せっかく作るのであれば、これからの将来のためとか、より良いものが案なのか、もっと理想に近いような、でも現実的にできない場合もあろうかと思えます。ここで案の金額が50億円となっていますけれども、これが仮に70億円、80億円となった場合に、必要であれば何らかの工夫をして捻出できる可能性もあろうかと思うのですが、でも他の様々な事業も行っていかなければいけない。ですから、最低限だとしても、どういうものを必要とするかというコンセプトを明確にする必要があると思えます。先ほど事務局も言われたように、どちらに転んでも不幸なことであります。ですから、ある程度明確にここはもう保持しましょう、ということを決めた上でどれだけ良いものを作るのかを協議する必要があると思えます。本当に良いものを作りたいですし、費用対効果というお話もありましたけど、障害者の方々、1日10人使えば、年間でかなりの人数が御利用されます。また、利用が多い、たくさん利用者がいるから費用対効果を良いとするだけでなく、少数の方々であってもその方のために使うということも費用対効果であるわけですから、そういったことも含めた中で、どういうものを作るのかを明確にした上で、その中でこれも入れるけれどもこれについてはこの程度で我慢しましょうとか、という話をしないと進まないのかなと思いました。

それと最後に、予算の組み方表現の仕方なのですが、これは大規模事業とか、市役所の都合ということもあるのかと思われましても、解体費用について、プール、校舎、体育館、さらには少し心配な項目なのですから埋設物撤去とかですね、この4件を合計すると約8億円になるのです。ですけど、この8億円というのは、陸上競技場作るための建設費用の中ですご

く大きな比率で入っていますので、これは入れるべきではないと私は思っています。そもそも、つくば市としての負債を常に抱えていて、いつかは更地にしなければいけないわけですから、谷田部庁舎等も今更地になって綺麗になっていますし、桜庁舎も綺麗に更地にしたので相当変わっていますし、谷田部庁舎の近くにあったプールもしばらくずっと置きっ放しでしたが綺麗に更地になりましたけれども、やはり本来は別の負債を持っているということでもあります。ですので、α案であれば合計は37億円かかりますけれども、しかしそのうちの建設費用は29億円で、更地にするのにあたっての解体費で必要なのが8億円必要です、というような表現にさせていただいた方が、よりわかりやすいのかなと思いました。バブルの時代でもあれば100億円で良いものを作ったというイメージもいいでしょうけれども、こういった時代であれば明確に基準を決めた上で表現していただければなと思いました。

座長：はい、ありがとうございました。

委員：皆さんの意見を伺っていて、いろいろ勉強になることばかりなのですが、個人的には、上郷全体の話も大分関わってくると思うのですが、多目的集会所とか会議室というのは上郷の方々にぜひ使っていただきたいということと、例えばトレーニングルームについてウェルネスパークのように上郷の地元の方々に使っていただけるような仕組み、1回100円でも200円でも、そういうふうにできるだけ使っていただくようにするのであれば、有効活用されるので、ぜひ残していただきたいなと思います。

あと、もう9月のこの時期ぐらいになってくると、日が暮れるのも早いので、照明はぜひ欲しいと思います。それは、これから部活動が一つの学校でやるのではなくてくると思うので、陸上で使うのかサッカーで使うのか共同で使うのか分からないですけれども、上郷だけなのか上郷とかその周辺地区での部活等で、平日使うようになればなと思います。部活ではなくても、例えばクラブみたいな感じになるかもしれないですけれども、そういうので使っていただく、小学生や中学生が放課後使うということも考えると、照明はあるのかなと思いました。

あとやはり話があった雷の時、ゲリラ豪雨がしばらく続いていた時期があると思うのですが、車がある方は車に逃げてくださいというアナウンスをしながら、やはり子供たちはスタンドに留まるような形にはなると思うので、そこは必要かなと思います。

あと平日の活用は、ぜひ障害者の方もそうですけれども、元気なお年寄りいっぱいいますので、ここで週1回なり、月2回なり、何かイベント、イベントというか習慣化するようなことをしていただいて、ぜひ昼間も活用することを考えていただければなと思います。お願いします。

委員：この会議もあまりこれからないかと思しますので、私の希望を述べさせていただきます。まず、メインスタンドについてですが、いろいろな競技場に行きまして、やはり競技役員や選手が入ることができるところが、ほとんど1階なのです。2階というのはほとんどないですね。1階の部分に関係者の待機できる場所、あるいは選手が待機できる場所、走り幅跳びなどはメインスタンドの前でやるのが多いです。バックスタンド側の方でやる場合もありますけれども、大体メインスタンドの前で走り幅跳びをやります。100m走はほとんどメインスタンドの前です。それを考えると、やはり選手や競技役員が待機できる場所を考えると、やはり1階にそういう管理のスペースがあった方がいいのかなと思います。

観客の方は、 α 案と β 案だとグラウンドに接していて臨場感はあるのですが、それほど多くの観客席は必要ないかなと思っています。 γ 案では、メインスタンドは3階席を確保しないと観客席が多くなれないというお話がありましたけれども、2階を少し後ろの方に延ばせる構造ができないのかなと、こだわっています。それが一つです。

それから、バックスタンド側は簡易な観客席でもいいと思います。あまり粗末な観客席では困るのですが、それがあれば非常に良い。先ほどメインスタンドを縮小してもいいと言いましたが、バックスタンドの方に観客席を確保できますので、先ほどの避難のことも考えて、できればバックスタンドの方に観客席が少しあったほうがいいのかと思います。以上です。

様式第1号

座長：はい。お願いします。

事務局：全体的な事業費というものが最終的に関わってきますので、その辺のことを少し考慮しつつ、何点か少し確認させていただきます。

メインスタンドに関しましては、委員のお話がありましたけど、やはり部屋がトラック側に面していた方がよろしいかということと、その場合に事業費を抑えるために観客席数がある程度減らす必要性がありまして、そうすると、先ほど医務室を外に出すといった話がありましたけれども、例えばシャワー室、更衣室等がスタンドの下ではなく別棟になるとか、そのような形でもよろしいのかということの一つ一つ確認させていただきたいのですけれども、その辺はいかがですか。

委員：更衣室とかシャワー室、トイレ等々については、メインスタンドの下にあったほうが良いのかなと思います。選手控え室は、時にはこの会議室や用具倉庫も選手控え室に使えますので、これはこれで良いと思います。

事務局：そうすると、なかなか座席数が減らないので1,200席近く残るという形かなと思うのですけれども、メインスタンドの外に出せるものを検討させていただいて、その上で座席数が多少減るといことは問題ないでしょうか。βとγ案が1,200席、α案が800席というところで設定させていただいているのですけれども、事業費を増減させる一番大きなところがメインスタンドになりますので、800席ぐらいに抑えてでも、先ほど言ったγ案のような作りのスタンドで検討した方がよろしいか、というところです。

座長：どうぞ。

委員：αとβ案だと多分観客席が近いと思います。中学生の大会をやる時には、メインスタンドの前に役員とかのテントを全部張るので、全く観客席の意味が無くなってしまうと思います。今までの陸上競技場を見ると、委員の方からあったように、1階に部屋があつて2階から見られるので、保護者とかも見やすいのであつて、α案とβ案のように近いと、その前に我々役員のテントがあつたり、補助員のテントがあつたり、逆に見づらいのではないかなというような感じはします。以上です。

様式第1号

座長：いかがですか。

事務局：ありがとうございます。その辺は検討させていただきます。

次のバックスタンド側についてですけれども、屋根があったほうが良いというお話をいただいています。ですが先ほど委員の方からもありましたけれども、椅子に関しましては固定式や折り畳み式ではなくて、ベンチタイプの椅子とかでも大丈夫ということでしょうか。

あともう1点、雨天走路に関してですが、γ案では多目的広場とバックスタンド側側に2ヶ所入っております。事業費の関係から、どちらか一つとなった場合にはどちらが使いやすいのか、というところをお聞きしたいかなと思っていますが、いかがでしょうか。

委員：バックスタンドの下は選手の控えに使われる場合もあります。普段はテントなんかを建てているのですが、スペースがあるとかなり選手たちや学校の応援団の控え場所になります。ですから、あえて雨天走路を作るとすれば、本当はバックスタンドの下が一番良いのですが、多目的広場の方で良いかなと思います。要するに選手がウォーミングアップできる場所に確保する必要があるかなと思います。

事務局：ありがとうございます。あともう1点ですけれども、ナイター照明については、やはり必要というような見解でよろしいですか。

委員：はい。

事務局：ありがとうございます。

座長：委員、これまでの御意見も踏まえていかがでしょうか。

委員：いろいろ御意見を伺って、なるほどと参考になるところはたくさんありました。今のお話聞いていて難しいところは、きちんとした大会をここでできるようにすること、まず陸上競技場としての本来の目的のところと、あとは観客の人たちとの親しみやすさみたいなのところもありますし、それからできるだけ大会以外の日常時にどれだけ使ってもらえるのか、というところで、その地域の方も含めてやはり平日、大会とかがないときには地域の人だとか、あるいは学校の部活を兼ねて平日もできるだけ賑わうような状況になる

方が良いのかなというところがありますので、そのあたりの運用の仕方、作ったのに使われていないということにならないためには、むしろ後の方が大事になってくるのかなということは感じております。

あとは α β γ と、それぞれ良いところがあるので、この3つから選ぶというよりは、何かもう少しそれぞれの必要なところを集めて、取捨選択をした上での案が出てきた方がいいのかなとも感じました。

もう一つは、観客席の数の話ですけれども、こちらで例えばサッカーの試合やるとか、いろいろなことを今後やっていく上で、観客の方からお金を取るような大会を開くことは想定していない、ということではよろしいですか。小さくてもお金を取るような大会をやるということになれば、やはり観客席の数もそれなりに必要になってくると思います。そこまでは考えないで観客席はコンパクトに、ただしその大会をきちんと運営するとか、一般の方に使いやすくなっている方を重視するのであれば、観客席の数は若干少なめにしておいてとか、バックスタンド側になるべく簡単なものでできるものをやるとか、という考え方になるのかなと思いました。

あとは、この地域との関係という点では、最初のお話で、この地域全体を運動公園みたいな方向性が今後検討されるのかということ。例えば夜間照明はあった方が良くと思うのですね。平日お仕事終わった方が使ったりとかあると思うのですけれども、その辺りを現在住んでらっしゃる方の御理解があるのかだとか、そういう状況になることをきちんと理解されたり、そうなくても良いと考えていらっしゃるのかだとか、その辺も大事なのかなというふうに思いました。

それから最後に、本当はこれが一番大事なんでしょうけれども、雷だとか安全対策のところですよ。本当にそこは必要ですし、先ほど委員がメインスタンドは3階まで必要ないということをおっしゃっていたのですが、私も障害のある方が万が一の時に避難しなければいけないということになると、やはり3階までであるとそれだけ避難に時間がかかってしまうこととかを考えると、あまり背の高い設備というよりは、せめて2階ぐらいまでのとこ

様式第1号

ろの方が、実際に見る方にとっても使い勝手がいいのかなと感じました。今までの皆さんのお話を伺って感じたことになります。

座長：はい、ありがとうございました。これまでの議論を全体的にまとめていきたいと思うのですが、よろしいですか。やはり少し細かい精査のところ、場合によっては事務局から各委員の方々に、追加で意見照会していただくような可能性もありますか。

事務局：やはりメインスタンドの形状が第一の議論かなと思っていまして、 α と β と γ で大きく違うところが2階なのか3階なのかというところが、一つ重要な項目かなと考えております。今お話聞かせていただいた感じだと、 γ 案に近いような、その1階部分が全て部屋になっていて、グラウンドと直接やりとりができるような環境が必要だというようなお話があったので、その辺を考えつつ、あるいは本部席であるとか記録室であるとか、そういったものを丸ごと分棟の方に出すような形での競技場も実際あったりしますので、そういったことでも良いのかどうか。観客席は α や β のような形で、その横につく分棟の部分に本部室等や医務室などを置くというような形でも良いのかどうか、そういったことも含めて検討する必要があると思いますので、各委員の皆様、意見照会を差し上げる可能性があるかなと考えております。

座長：はい、ありがとうございました。時間にもなりましたので、やはりいろいろまた個別に御指摘が出て、特に実際にその競技を使われる立場の方々からの御意見はやはり極めて重要かと思っておりますので、その点でいろいろ案を御検討いただいたときに、また個別に少し確認していただくとよろしいのかと思いました。

全体として、私は陸上競技分野に関して全く素人ですので、そういう観点でいろいろずっとこれまでの意見を伺って参りましたがけれども、今日資料を御説明いただいた後、最後に事務局から平成27年以降の様々な経緯について御説明いただいたところだと思います。これについて、ここで伺いすべきことかどうか分からないのですが、1回いろいろな経緯があった後で、この陸上競技場を造るということで、その時に大規模事業評価の手続きを1回

されていると思うのですけれども、そしてそれを1回クリアしているということではあるかと思うのですが、皆様の真摯な御議論を聞いて伺ってきて、それでこれだけのスペックが必要なのだという、これだけの時間をかけてようやく理解できることだと思います。しかし、普通の市民の方々の中には、陸上競技場にさほど関心の高くない方も当然いらっしゃるかと思います。そういった方々に対しても、そのアカウントビリティが必要だという時に、普通の皆さんはよく分からず、金額だけ突然倍近くなっている、これは何だろうというふうに思われる、そういうリアクションになる方は一定数いることは当然じゃないかと思うのですね。

その時に、一度大規模事業評価をして妥当だと言っていたとしても、金額がものすごく大きくなっている時に、改めてこの大規模事業評価をやり直さないで良いのか、という御意見が当然出るかと思うのですけれども、そのあたりは大丈夫ですか。

先ほどの、市民とか議会に対して十分な説明を、手続きを尽くしてきたかという話が出たときに、この策定検討会議はあくまでも第三者的ではなくて、陸上競技場建設に熱意のある人たちにとってどういう理想像を追求するかの会議なので、ここでの結論があったからといって、大規模事業評価のこの検討が適切かという結論とは少し違うと思うのですよね。もう1回、この金額とスペックが変わっているのだという前提でしたら、大規模事業評価の方でももう1回審査していただかないと、のちのち議会とかそういう合意形成の時に支障が出るということはないですか。

事務局：大規模事業評価の再評価という項目があるのですけれども、そこでは

「当初の計画に大幅な変更が生じた場合には再評価をする」という文言が書かれておりまして、その大幅な変更というのが金額の話なのか内容の話なのかというところまでは具体的に明記されておりません。ただ一方で、大規模事業評価制度が設立された経緯としましては、やはり金額の面、白紙撤回となった総合運動公園の300億円という金額から、こういった評価制度ができたことを考えますと、金額の大幅な変更というのも再評価の項目にはなる可

能性があるとは考えております。ただ、実際にやるべきなのかどうかというところまでは結論に至っておりません。

大規模事業評価委員会の方で実際に指摘があった内容としましては、「今後設計条件の整理を進め基本計画、基本設計等の検討が進んだ際に、事業費の見込みが増えた場合の意思決定プロセスをあらかじめ設けることが望ましい」という評価をいただきまして、それに対して我々は、当初27億円という金額を出させてはいただいているのですけれども、その当時と比較して、やはり昨今の工事費の高騰の影響が少なからず見込まれておりましたので、単純に工事費が高騰するだけでもう一度大規模事業評価を受けるべきなのかどうかというところは、少し悩んでしまったところではありました。ですので、その指摘に対してスポーツ施設課としましては、「本事業の基本計画や基本設計等の検討を進める中で、事業費の大幅な増加が見込まれた場合には、その検討過程を明らかにし、市民にわかりやすく周知する」という対応にしております。ただ、それはあくまでスポーツ施設課としての考え方なので、先ほどの大規模事業評価の再評価に適するかどうかというところは、また別の議論になると思います。

現時点においては、受けなくてはならない、受ける必要はない、ということまでの結論には至っておりません。以上です。

座長：はい、ありがとうございます。この策定検討会議として、どちらがふさわしいということ言うべきところではないと思いますし、それはこの会議自体も公開でやられていることなので、その意味でここの議論というのは一定のアカウンタビリティを果たしているものと認識しているのですけれども、今後行政部局でさらに御検討いただいて、議会の方でもかなりのお金のかかる話だと思うので真摯な御議論をいただくかと思うのですが、その時にこれだけ精緻な議論を積み重ねてきて最終的な形で実現に至るといいかと思っております。いろいろな合意形成の行き違いで、全体がまた中断とか頓挫してしまうことがないように、その時に一番言われやすいのは手続きが不十分だったのではないかということ。十分だ、不十分だとは到底我々は思わないけれ

ども、でも外の人から見ると不十分なのではないのかと。前回はそういう結果であったということは、御関心のない方々にとっても、この金額が増えたということがどういう意味なのか、きちんと御理解いただけるような、どういう手続きが必要なのかの御判断だと思うのですが、十分にその合意形成をしていただいて、最終的に市の方で御決断いただくこの金額はきちんと議会でも御理解いただけるとよろしいかな、うまくいくといいなというところでございます。

あともう一つは、その金額を精査していただくに当たって今日いろいろ御意見が出ましたけれども、これが必要なのか、必要ではないのかというのは人それぞれ思うところがあると思うのですが、おそらく最終的に立ち返る判断基準というのは、そもそもこの施設は何のためにあるのかというその基本コンセプトに立ち返って、ということになると思います。その時に、まずその基本コンセプトに立ち返って御判断いただく時もいろいろ御判断あるのでしょうか、そこはもう1回皆さんで御確認いただくということかと思えます。小中学生にとってのとか、きちんとした記録が取れるとか、特に小中学生というキーワードが出てくれば、当然救護室はきちんとしているのか、雷対策がきちんとしているのか、夏の炎天下を避けるためにも使えるのか、そういったこと全て小中学生が安全にそこを使えるかという観点で、御判断いただく必要があると思います。もちろんゼロリスクは難しいかもしれませんが、何か事故があった時に、何で設計の時にそれを考えていなかったのだと後から言われないようにするためにも、小中学生が安全にきちんとここで活動できるという観点から、設計段階できちんとそこは全部考えられていたのかということは後々問われるかなと、今日は伺っていて思いました。そういった意味で、本当にこれが必要かどうかという時に、まずはその小中学生が安全安心にここで思いきりきちんと活動ができるという観点から、これは必要不可欠かなということ、再度検証していただきながら、その設計の取捨選択をしていただくとよろしいかな、というふうに個人的な見解でございますが申し上げます。

様式第1号

ということで、すみません、時間を超過してしまいましたが他よろしいでしょうか。それでは本日の議事については以上とさせていただければと思います。皆様方の議事進行に御協力賜り誠にありがとうございました。事務局にお返ししたいと思います。

事務局：座長ありがとうございました。次回、第6回策定検討会議については、本日の会議の結果を踏まえて、パブリックコメント前の基本計画案を取りまとめる予定です。

それでは以上をもちまして第5回仮称つくば市陸上競技場整備基本計画策定検討会議を閉会いたします。長時間ありがとうございました。

第5回（仮称）つくば市陸上競技場整備基本計画策定検討会議

次 第

日時：令和5年9月26日（火）

午前10時から

場所：つくば市役所 会議室 201

1 開 会

2 議 事

(1) 基本計画の策定スケジュールについて

(2) 基本計画（案）について

- ・計画条件
- ・インフラ整備の基本方針
- ・基本計画図
- ・概算工事費の算出

5 閉 会

配付資料

資料1 （仮称）つくば市陸上競技場整備基本計画の策定スケジュール

資料2 （仮称）つくば市陸上競技場整備基本計画（案）【一部抜粋】

資料3 （仮称）つくば市陸上競技場整備事業（概算工事費、メインスタンド比較表）

資料4-1 α案（基本計画図、メインスタンドのイメージ図、平面図）

資料4-2 β案（基本計画図、メインスタンドのイメージ図、平面図）

資料4-3 γ案（基本計画図、メインスタンドのイメージ図、平面図）

資料5-1 障害者スポーツ・バリアフリーに関するワークショップ 意見・提案一覧表

資料5-2 陸上競技・大会運営に関するワークショップ 意見・提案一覧表

令和5年9月26日
市民部スポーツ施設課

(仮称) つくば市陸上競技場整備基本計画 (案)

【一部抜粋】

第5回

3.5.2 駐車場・駐輪場

(1) 同時来場者数の考え方

ア 市内の中学生の陸上競技大会開催に必要な観客数来場者数の想定

つくば市の公立中学校 ~~12校~~13校と義務教育学校~~5校~~4校の計17校の生徒総数は、令和5年(2023年)4月時点で6,584人である。この1/4程度の1,600人が選手又は応援として参加し、さらに教職員、関係者及び父兄が合計600人程度参加すると想定した場合、合計で2,200人程度である。

イ つくば市陸上競技選手権大会の開催に必要な観客数来場者数の想定

つくば市陸上競技選手権大会の参加者は、約2,000人程度である。

ウ 同時来場者数の想定

子とイアについては、選手として参加する生徒の多くが、大型バスで来場すると想定される。

したがってイを基に、競技進行に伴い順次参加選手と観戦者等が入れ替わる利用実態を想定し、同時滞在率を8割程度と考えると、大会の同時来場者数は最大~~1,800人~~1,600人程度と想定される。

- ・参加者及び観戦者等数 = ~~2,200人~~ 2,000人
- ・同時滞在率 = 80%
- ・最大同時来場者数 = ~~1,800人~~ 1,600人

(2) 必要となる駐車区画数の想定

来場時の普通乗用車の乗車人数(1台への同乗者数)については、2.1人/台と設定する。

ア 交通手段分担率と駐車場利用者数

「第6回東京都市圏パーソントリップ調査(平成30年)」における、つくば市の交通手段分担率のうち、自動車分担率は63%となっている。

また、「つくば市スポーツ環境に関するアンケート調査(平成29年3月)」では、よく利用しているスポーツ施設までの移動手段として、「バイク・自家用車」と回答した方の割合が最も高く82.7%となっている。

したがって、自家用車用の駐車場規模算定に用いる交通手段分担率として、この2つの数値を採用する。

イ 必要となる普通車駐車区画数（一般利用者用）

普通乗用車の乗車人数（1台への同乗者数）について2.1人/台と設定し、上記の交通手段分担率を用いて、駐車区画需要を算出する。

(ア) 自家用車分担率を63%として計算

$$\begin{aligned} & \text{最大同時来場者数} \div \text{乗車人数} \times \text{自家用車分担率} \\ & = 1,800(\text{人}) \div 2.1(\text{人/台}) \times 63\% \div 540(\text{台}) \\ & = 1,600(\text{人}) \div 2.1(\text{人/台}) \times 63\% \div 480(\text{台}) \end{aligned}$$

(イ) 自家用車分担率を82.7%として計算

$$\begin{aligned} & \text{最大同時来場者数} \div \text{乗車人数} \times \text{自家用車分担率} \\ & = 1,800(\text{人}) \div 2.1(\text{人/台}) \times 82.7\% \div 710(\text{台}) \\ & = 1,600(\text{人}) \div 2.1(\text{人/台}) \times 82.7\% \div 630(\text{台}) \end{aligned}$$

(ウ) 普通車駐車区画数の想定

(ア)と(イ)を基に、常設で整備する駐車区画数を~~540台~~480台とし、陸上競技大会等を実施した場合に最大で必要となる駐車区画数を~~710台~~630台とする。

- ・ 常設駐車区画数 = ~~540台~~480台
- ・ 最大駐車区画数 = ~~710台~~630台

ウ 必要となる普通車駐車区画数（身体障害者用）

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令（政令第379号）の第17条の移動等円滑化基準の規定により、「駐車台数が200を超える場合は、駐車台数の1/100に2を加えた数以上の車いす使用者駐車施設を設ける」と定められていることから、これを基に算出すると以下のとおりとなる。

$$\begin{aligned} & \text{最大駐車区画数} \times 1/100 + 2 \\ & = 710(\text{台}) \times 1/100 + 2 \div 10(\text{台}) \cdots \text{身体障害者用駐車区画数} \\ & = 630(\text{台}) \times 1/100 + 2 \div 9(\text{台}) \cdots \text{身体障害者用駐車区画数} \end{aligned}$$

しかしながら、本施設は基本方針において「誰もが利用できる施設」と「障害者スポーツ」を設定しており、身体障害者用駐車区画数を通常よりも多めに設置することが望ましいと考えていることから、最大駐車区画数の10%とする。

$$\begin{aligned} & \text{最大駐車区画数} \times 10\% \\ & = 710(\text{台}) \times 10\% = 71(\text{台}) \cdots \text{身体障害者用駐車区画数} \\ & = 630(\text{台}) \times 10\% = 63(\text{台}) \cdots \text{身体障害者用駐車区画数} \end{aligned}$$

エ 大会時に必要となるバス用駐車区画数

バス利用については、大会時の選手の団体のみを想定し、応援団等の観客は自家用車と公共交通機関での来場を前提とする。

市内の中学校の大会を想定すると、令和5年度（2023年度）のつくば市中学校体育連盟所属の中学校全てがバス1台で来場した場合に、計19台が必要となる。また、一般的な大型バスで補助席を除いた正座席数を45席とし、そのうち5席を教職員分とした上で、陸上部員数が1校当たり40人を超える学校は6校あることから、これらを基に算出する。

$$\begin{aligned} & \text{中学校体育連盟所属学校数} + \text{陸上部員が40人を超える学校数} \\ & = 19(\text{校}) + 6(\text{校}) = 25(\text{校}) \cdots \text{バス駐車区画数} \end{aligned}$$

オ 必要となる自転車駐輪区画数

アとイを基に、常設の普通車駐車区画数の算出において、「第6回東京都市圏パーソントリップ調査（平成30年）」における、つくば市の交通手段分担率を採用していることから、当該調査のうち、自転車分担率は12.0%となっていることから、この交通手段分担率を用いて自転車駐輪区画数を算出する。

$$\begin{aligned} & \text{最大同時来場者数} \div \text{乗車人数} \times \text{交通手段分担率} \\ & = 1,800(\text{人}) \div 1(\text{人/台}) \times 12.0\% = 216(\text{台}) \cdots \text{最大駐輪区画数} \\ & = 1,600(\text{人}) \div 1(\text{人/台}) \times 12.0\% = 192(\text{台}) \cdots \text{最大駐輪区画数} \end{aligned}$$

(3) 駐車台数のまとめ

表 3-5 駐車・駐輪台数のまとめ

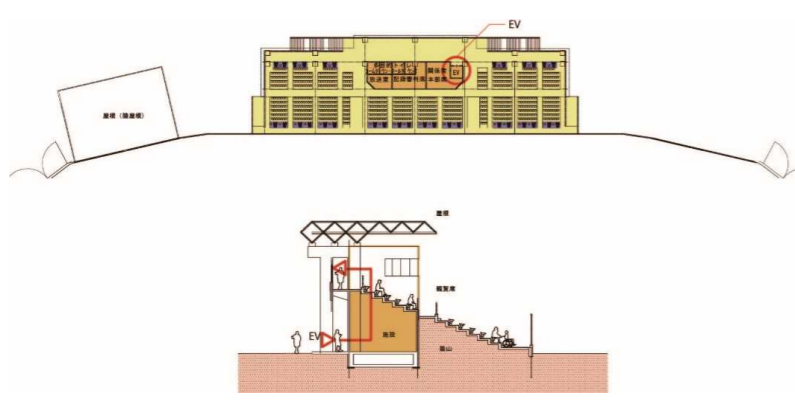
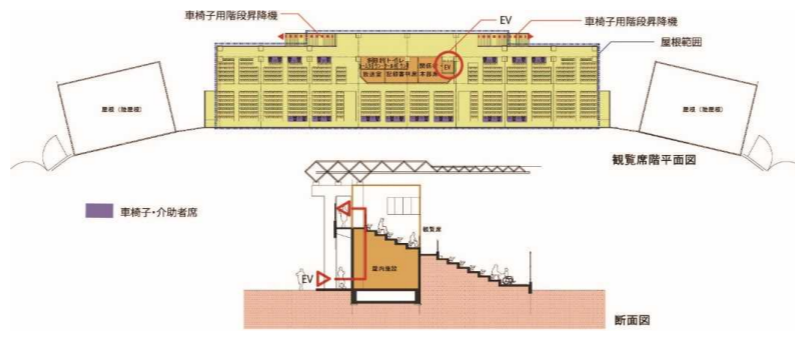
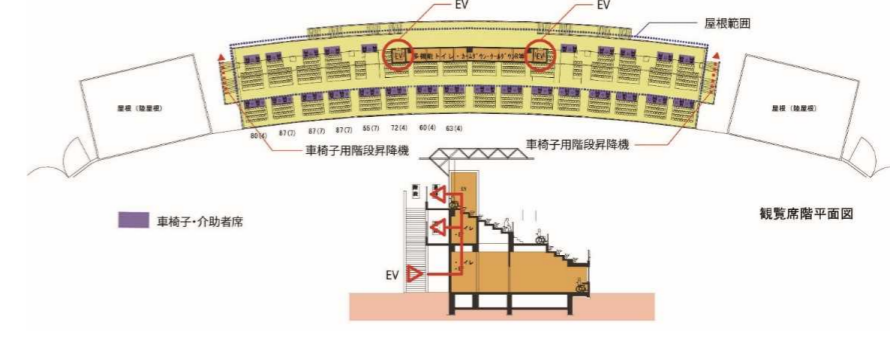
車種	台数
普通車用	常設：540台 480台 臨時：170台 150台 合計：710台 630台
身体障害者用	71台 63台
バス用	25台
自転車用	216台 192台

(仮称)つくば市陸上競技場整備事業 概算工事費比較表

単位:千円

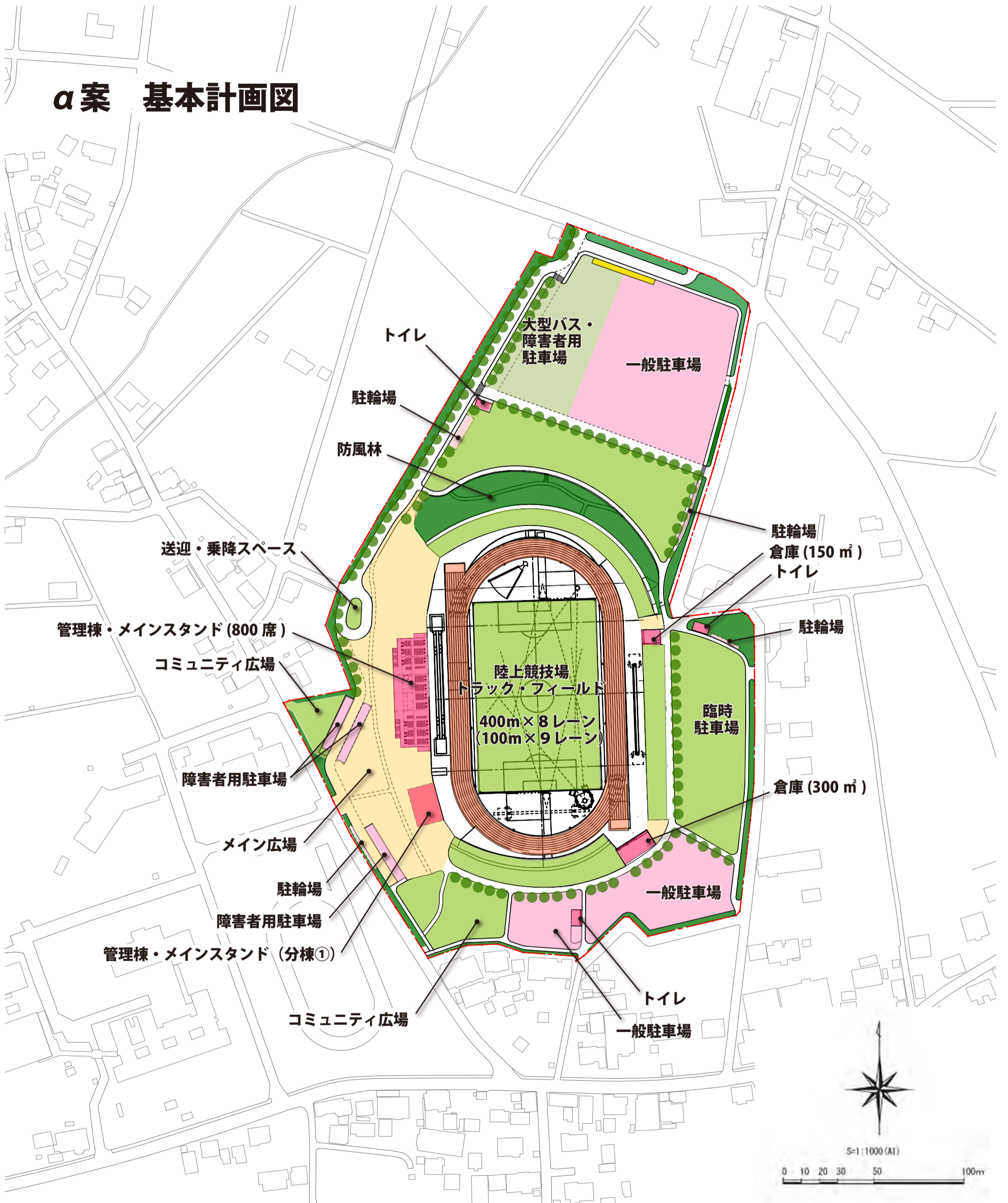
	項目	基本構想(プラン2)		基本計画α案		基本計画β案		基本計画γ案	
		金額	内容	金額	内容	金額	内容	金額	内容
競技場 本体	メインスタンド	1,064,000	2階建て1,500席(2,000㎡)、エレベーター1基	640,000	2階建て約800席(1,620㎡)、エレベーター1基、屋根付き(2階部分のみ)	898,000	2階建て約1,200席(2,015㎡)、エレベーター1基、屋根付き(1階及び2階部分)	1,386,000	3階建て約1,200席(3,002㎡)、エレベーター2基、屋根付き(3階部分のみ)
	トラック	544,000	全天候舗装8レーン	816,000	全天候舗装8レーン(直線のみ9レーン)、逆走設定、電子音スターターシステム	816,000	全天候舗装8レーン(直線のみ9レーン)、逆走設定、電子音スターターシステム	816,000	全天候舗装8レーン(直線のみ9レーン)、逆走設定、電子音スターターシステム
その他	造成費(切土・盛土)	17,000		25,000		25,000		25,000	
	植栽費	55,000		140,000	臨時駐車場の芝生舗装追加、園路等の植栽・樹木追加	140,000	臨時駐車場の芝生舗装追加、園路等の植栽・樹木追加	140,000	臨時駐車場の芝生舗装追加、園路等の植栽・樹木追加
	給水設備費	23,000		15,000		15,000		15,000	
	雨水排水設備費	25,000		231,000	雨水貯留浸透施設の追加	231,000	雨水貯留浸透施設の追加	231,000	雨水貯留浸透施設の追加
	汚水排水設備費	7,000		15,000		15,000		15,000	
	電気設備費(照明灯等)	40,000		77,000		77,000		77,000	
	駐車場・園路整備費	127,000	普通車用500台、障害者用10台、バス用33台、自転車用100台	293,000	普通車用480台、臨時用150台、障害者用63台、バス用25台、自転車用192台	293,000	普通車用480台、臨時用150台、障害者用63台、バス用25台、自転車用192台	293,000	普通車用480台、臨時用150台、障害者用63台、バス用25台、自転車用192台
	案内サイン等整備費	40,000		60,000		60,000		60,000	
	管理施設整備費(門扉、柵等)	40,000		113,000		113,000		113,000	
	便益施設(屋外トイレ等)	80,000		108,000		108,000		108,000	
	仮設工事費	21,000		47,000		47,000		47,000	
	解体・撤去費(プール付風棟、合宿所、部室、旧体育館、格技場)	153,000		167,000		167,000		167,000	
	解体・撤去費(校舎)	140,000	R3年度の大規模事業評価時に算出	461,000		461,000		461,000	
	解体・撤去費(体育館)	0		123,000		123,000		123,000	
	セミナーハウス整備費	360,000	R3年度の大規模事業評価時に算出	0		0		0	
	メインスタンド分棟①整備費	0		159,000	地域の交流拠点・多目的会議室の新設(318㎡)	159,000	地域の交流拠点・多目的会議室の新設(318㎡)	159,000	地域の交流拠点・多目的会議室の新設(318㎡)
倉庫整備費	0		177,000	メインスタンドの規模縮小に伴う不足分倉庫の新設(450㎡)	177,000	メインスタンドの規模縮小に伴う不足分倉庫の新設(450㎡)	79,000	メインスタンドの規模縮小に伴う不足分倉庫の新設(200㎡)	
バックスタンド側観客席整備費	0		0		87,000	300席の屋根付き観客席の新設	87,000	300席の屋根付き観客席の新設	
小計	2,736,000		3,667,000		4,012,000		4,402,000		
追加	メインスタンド分棟②整備費	0	0	0	159,000	ウェイトトレーニングルーム・ピロティ広場の新設(318㎡)	159,000	ウェイトトレーニングルーム・ピロティ広場の新設(318㎡)	
	メインスタンドスロープ整備費	0	0	0	0	0	85,000	3階スタンド席までのスロープ	
	多目的広場倉庫整備費	0	0	0	7,000	増加分の備品等の保管倉庫の新設	7,000	増加分の備品等の保管倉庫の新設	
	バックスタンド側屋根付き雨天走路整備費	0	0	0	0	0	154,000	80m×5レーンの屋根付き雨天走路の新設	
	多目的広場雨天走路整備費	0	0	0	98,000	80m×5レーンの雨天走路と大型屋根の新設	98,000	80m×5レーンの雨天走路と大型屋根の新設	
	駐車場屋根整備費	0	0	11,000	身体障害者用駐車場屋根の新設(15台分程度)	11,000	身体障害者用駐車場屋根の新設(15台分程度)	11,000	身体障害者用駐車場屋根の新設(15台分程度)
	ナイター照明設備費	0	0	0	228,000	27mボール型LED投光器4基(コンクリート柱)	228,000	27mボール型LED投光器4基(コンクリート柱)	
	大型電光掲示板整備費	0	0	0	0	0	0	0	
	埋設物撤去工事費	0	0	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
小計	0		41,000		533,000		772,000		
総計	2,736,000		3,708,000		4,545,000		5,174,000		

(仮称)つくば市陸上競技場整備事業 メインスタンド比較表

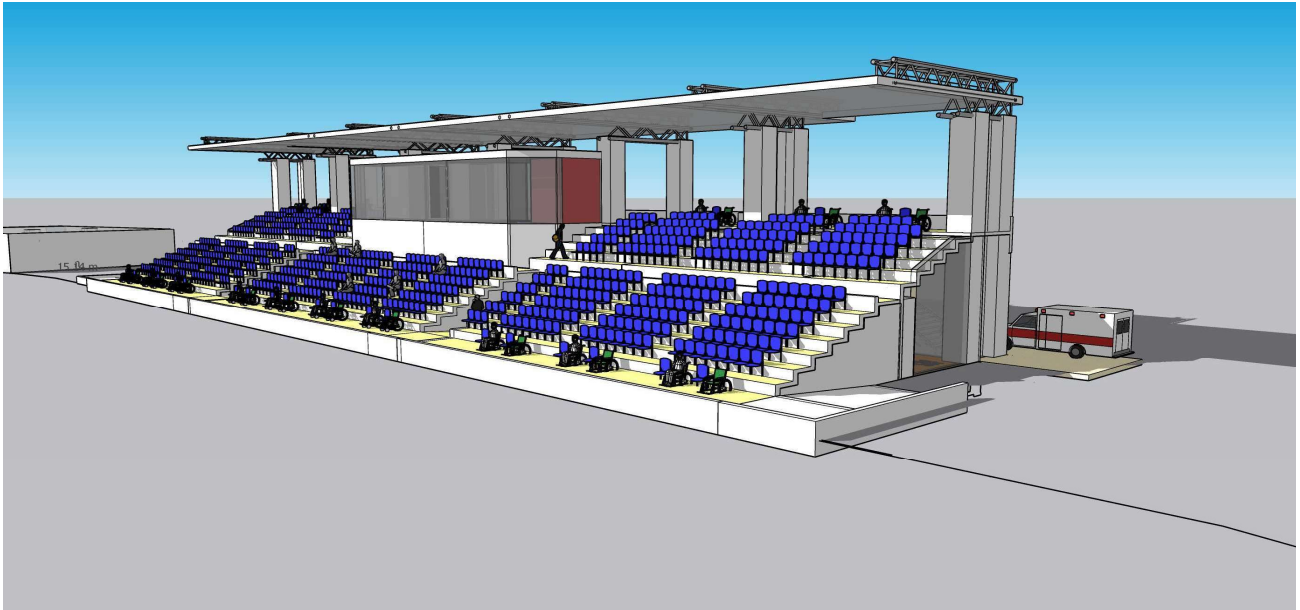
基本計画案	α案	β案	γ案
断面			
座席数	約800席 (内車椅子席:約30席、介助者席:約25席)	約1,200席 (内車椅子席:約30席、介助者席:約25席)	約1,200席 (内車椅子席:約50席、介助者席:約40席)
延べ床面積合計	約1,620㎡	約2,015㎡	約3,002㎡
屋内施設面積	約540㎡	約628㎡	約1,560㎡
屋根面積	約674㎡	約1,485㎡	約910㎡
階	地上2階	地上2階	地上3階
建物高さ	約10m	約10m	約13.5m
建設費概算	約640,000千円(税込)	約898,000千円(税込)	約1,386,000千円(税込)
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧席はグラウンドレベルとほぼ同レベルへ繋がるため、グラウンドとの親和性が高い。 ・本部席が2階にあるため、大会管理者がグラウンドが一望できる。 ・建設コストを押えられる。 ・階の移動をすることなくトイレへ行く事が可能であり、安心して施設を利用できる。 ・車椅子席からの避難が比較的容易である。特に最前列の車椅子席からの避難は容易である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧席はグラウンドレベルとほぼ同レベルへ繋がるため、グラウンドとの親和性が高い。 ・本部席が2階にあるため、大会管理者がグラウンドが一望できる。 ・建設コストを比較的押えられる。 ・階の移動をすることなくトイレへ行く事が可能であり、安心して施設を利用できる。 ・車椅子席からの避難が比較的容易である。特に最前列の車椅子席からの避難は容易である。 ・観覧席の全てに屋根がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内施設の面積が多く取れ、天井高さが取れることから、屋内機能が充実する。 ・屋内施設から直接グラウンドへのアクセスすることができるため、施設運営がしやすい。 ・階の移動をすることなくトイレへ行く事が可能であり、安心して施設を利用できる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・他2案と比較して、客席数が約800人のため少ない。 ・管理棟正面からグラウンド側に直接アクセスする箇所が無い場合、グラウンドへのアクセスは建物の横側を迂回する経路に限定される。 ・管理棟内の施設面積が極端に少なくなるため、管理棟の機能が極めて限定的となる。 ・倉庫はメインスタンド内に配置できなくなる。 ・観覧席の前半分は屋根がかからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理棟正面からグラウンド側に直接アクセスする箇所が無い場合、グラウンドへのアクセスは建物の横側を迂回する経路に限定される。 ・管理棟内の施設面積が少なくなるため、管理棟の機能が限定的となる。 ・倉庫はメインスタンド内に配置できなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子席から避難階まで高低差大きい場合避難時間がかかる。 ・観覧席の前半分は屋根がかからない。 ・建設コストが高い。

屋内施設として必要最低限のトイレ施設面積は170㎡であり、ユニバーサルデザイン配慮型トイレ施設とした場合200㎡程度必要

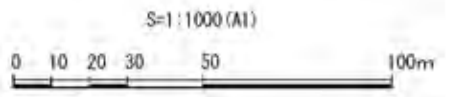
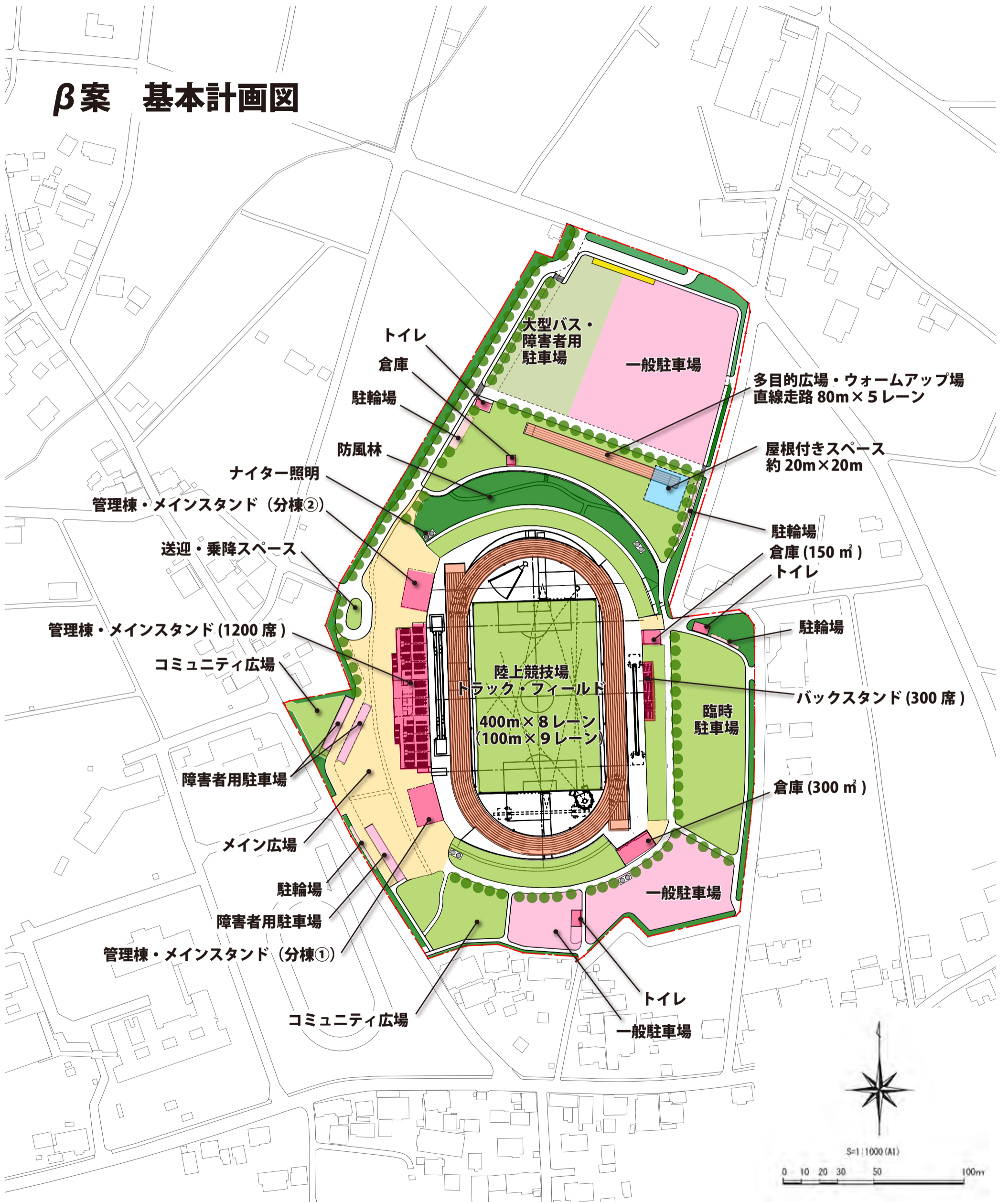
α案 基本計画図



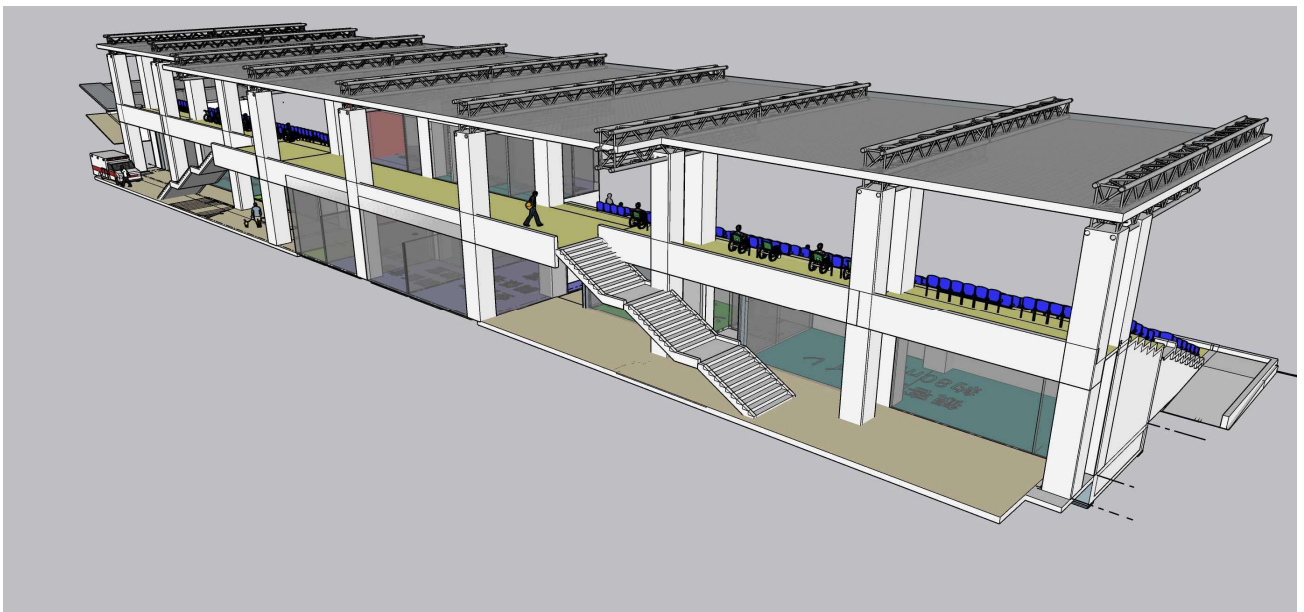
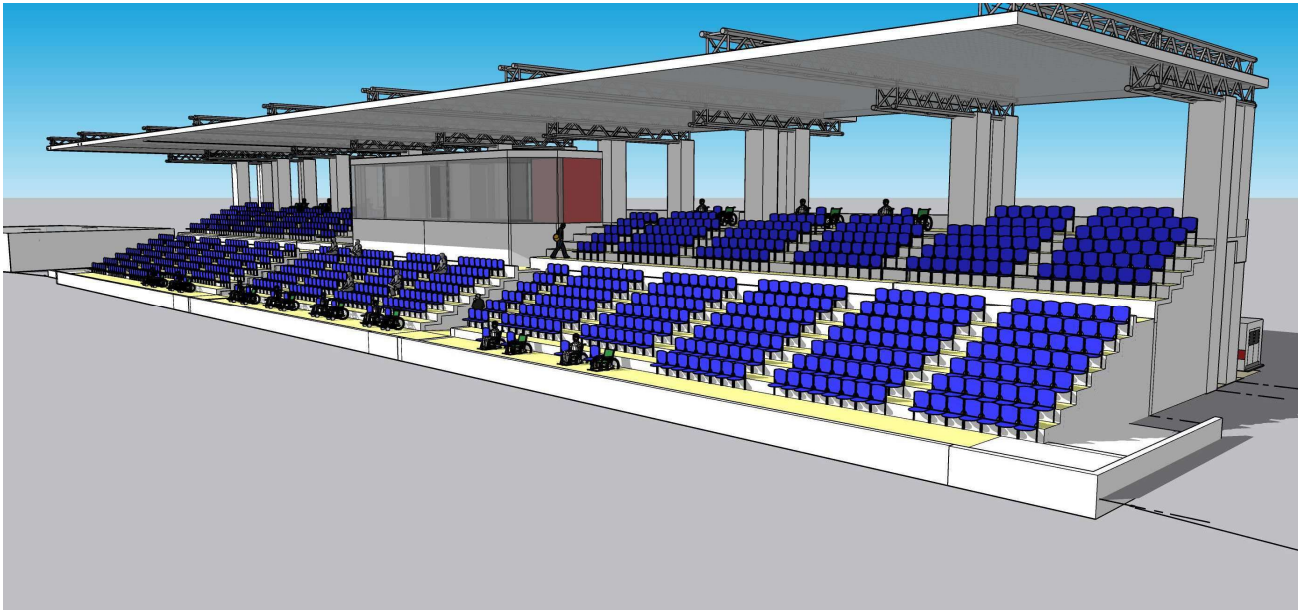
α案 メインスタンドのイメージ図



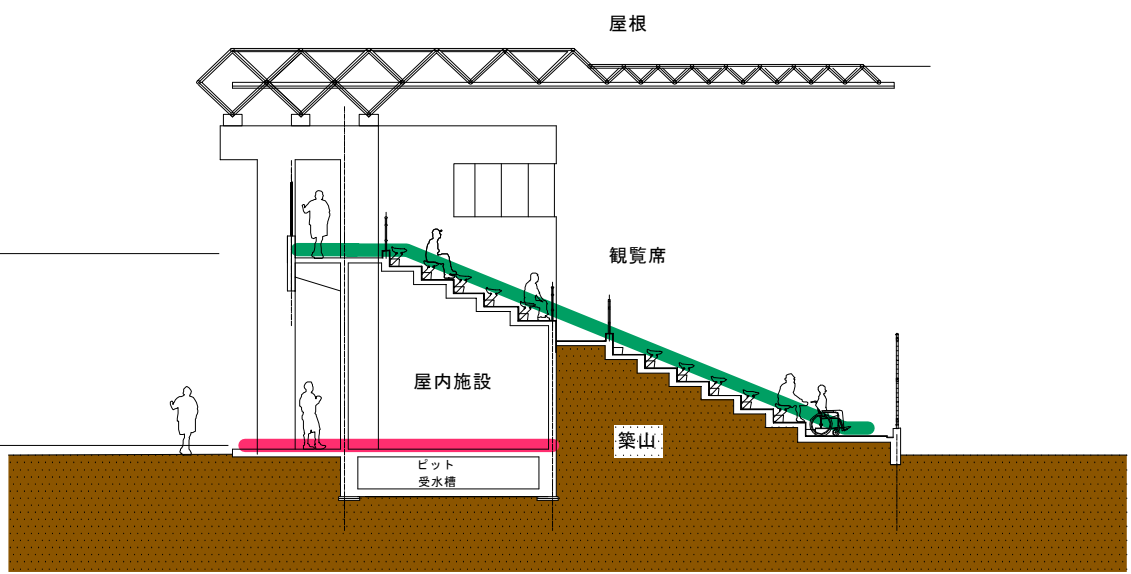
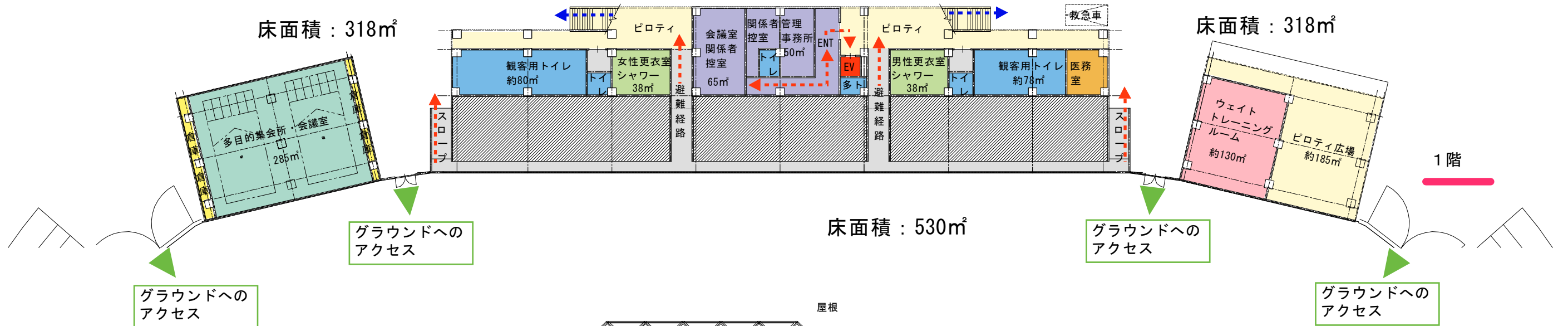
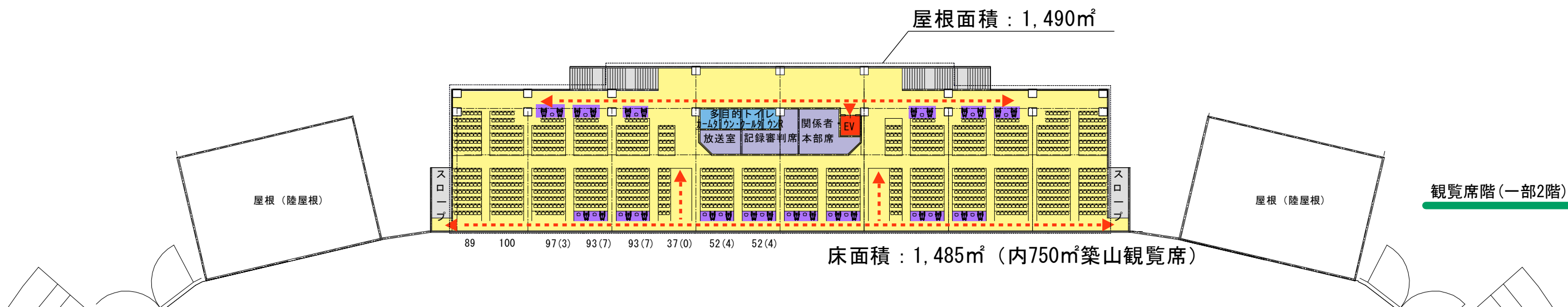
β案 基本計画図



β案 メインスタンドのイメージ図



β案 メインスタンド平面図

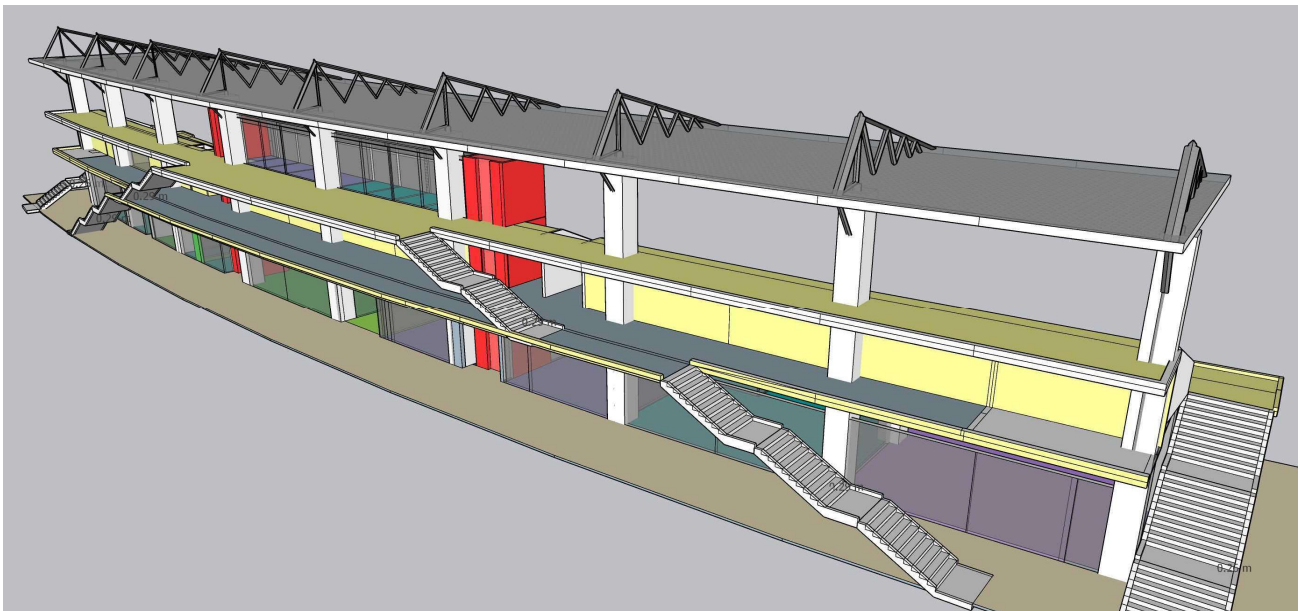
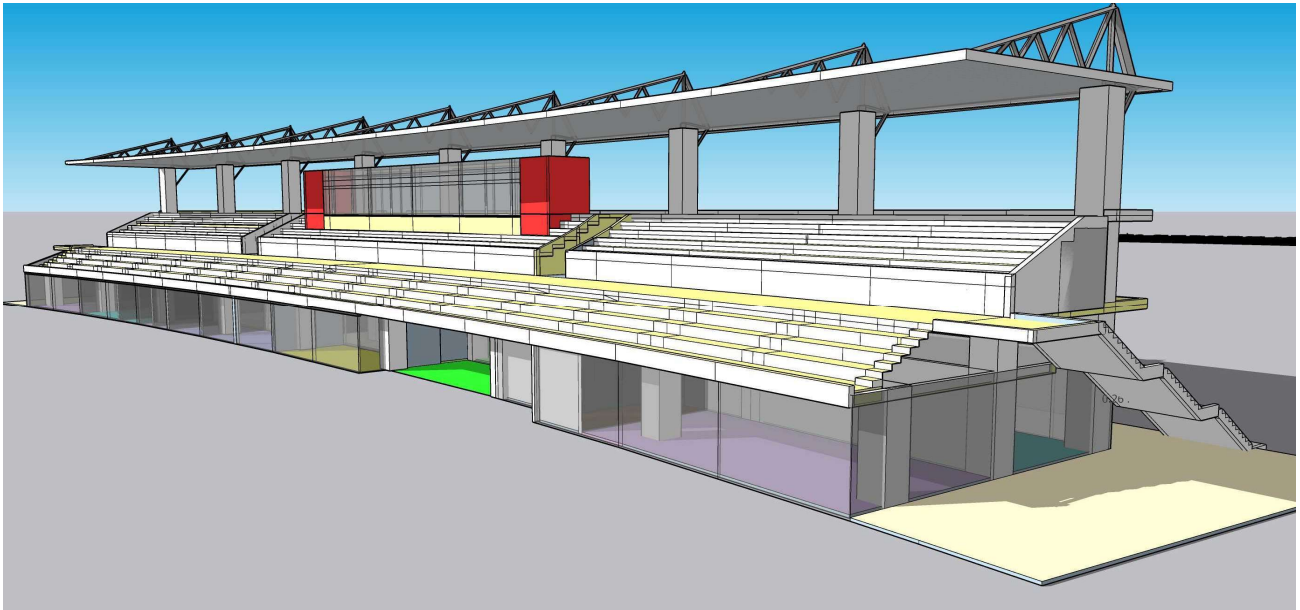


- 車椅子・介助者席
- バリアフリールート
- 上階からの避難ルート

γ案 基本計画図



γ案 メインスタンドのイメージ図



γ案 バックスタンド側屋根付き雨天走路のイメージ図



γ案 メインスタンド平面図

屋根面積：910㎡

屋根（陸屋根）

屋根（陸屋根）

床面積：1443.80㎡

3階・観覧席階

屋根（陸屋根）

屋根（陸屋根）

床面積：500㎡

（観覧席部分面積は3階・観覧席階に含む）

床面積：318㎡

床面積：318㎡

2階

グラウンドへの
アクセス

グラウンドへアクセス

床面積：1059㎡

グラウンドへのアクセス

グラウンドへの
アクセス

車椅子・介助者席

バリアフリールート

上階からの避難ルート

3階平面図

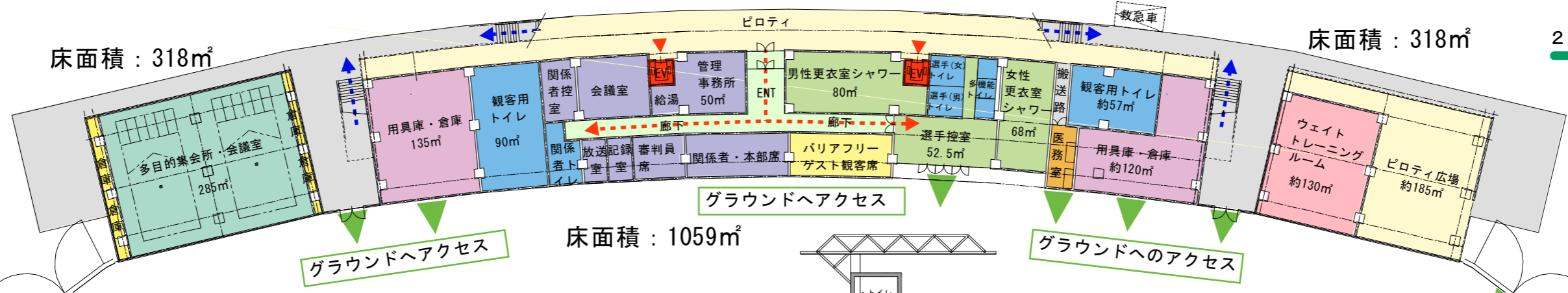
2階平面図

1階平面図

断面計画

グラウンドへのアクセス

1階



グラウンドへアクセス

グラウンドへのアクセス

グラウンドへのアクセス

グラウンドへのアクセス

グラウンドへのアクセス

グラウンドへのアクセス

グラウンドへのアクセス

グラウンドへのアクセス

グラウンドへのアクセス

グラウンドへのアクセス

グラウンドへのアクセス

グラウンドへのアクセス

障害者スポーツ・バリアフリーに関するワークショップ 意見・提案一覧表

無印：対応可、△：一部対応可、×：不对応、※：今後対応を検討

項目	内容	α	β	γ
1 陸上競技場本体	(1) 招集場所等に、目印になる色分けやマークを付けてほしい。			
2 観客席	(1) 雨天時や夏場の暑さ対策として、観客席に屋根を設置してほしい。	△		△
	(2) 車いす席の隣には、介助者用の席を設置してほしい。			
	(3) 車いすから観客席に移りやすいように、折り畳み式ではなく固定式の座席を設置してほしい。			
	(4) 車いす席からのサイトラインを確保されるようにしてほしい。			
	(5) 車いす席が、違う目的で使用されることがないようにしてほしい。			
3 管理棟	(1) 車いす等での出入りがしやすいように、部屋やエレベーターの出入口は広めにしてほしい。			
	(2) 気持ちを静めることができる部屋として、カームダウン・クールダウンルームを設置してほしい。			
	(3) 階段の段鼻は、視認性の高い色合いにしてほしい。			
	(4) 更衣室やシャワー室等もバリアフリーにしてほしい。			
	(5) エレベーターには延長ボタンを付けてほしい。			
	(6) ポッチャ等ができる広さの部屋を設置してほしい。			
	(7) 壁と床で色は変え、床はシンプルなデザインにしてほしい。			
	(8) 陸上競技場外の園路でジョギングをする人等が更衣室を利用できるようにしてほしい。			
	(9) 更衣室は異性介助ができるような更衣室を用意してほしい。	×	×	
	(10) エレベーターを設置する場合は、3箇所程度は設置してほしい。	×	×	×
	(11) 観客席のあるフロアには、トイレを設置してほしい。			
	(12) 日常利用時や災害時に、車いす利用者が観客席からエレベーターを使わなくても移動ができるように、スロープを設置してほしい。	×	×	
	(13) 多目的会議室やピロティ広場は、広めに設置してほしい。	△		
4 地域の交流拠点 /コミュニティ広場	(1) 芝生にする場合は、車いすやベビーカーの利用について配慮してほしい。			
5 多目的広場	(1) 芝生にする場合は、車いすやベビーカーの利用について配慮してほしい。			
	(2) 雨天走路には屋根を設置してほしい。	×		
6 園路（ジョギング・ウォーキングコース）	(1) 幅が広いコースを設置してほしい。			
	(2) 衝突の危険を避けるために、走る方向を一定に定めることと、注意喚起の看板を走路上に設置してほしい。			
	(3) 木の根がでこぼこしていると車いす等で移動しにくいいため、なるべく影響しないように樹木を整備してほしい。			

障害者スポーツ・バリアフリーに関するワークショップ 意見・提案一覧表

無印：対応可、△：一部対応可、×：不对応、※：今後対応を検討

項目	内容	α	β	γ
7 トイレ	(1) 障害者が多く集まる大会が行われることを考えて、障害者用のトイレの個数は多めに設置し、設置場所も考慮してほしい。	△	△	
	(2) ユニバーサルベッドが最低1箇所あり、介助者も動けるスペースのある広めのトイレを設置してほしい。	△	△	
	(3) 一般用のトイレにも手すりを設置してほしい。			
	(4) トイレの入口ドア等が男女別に色分けされていると、マークがなくてもトイレだと分かるので、目立つように色分けしてほしい。			
	(5) トイレの内部がどのような構造になっているかが予め分かるように、入口付近にトイレや洗面台の個数・場所等が示された案内板を設置してほしい。			
	(6) 洗面カウンターについて、水栓の位置を手前に付けてほしい。			
8 防災機能	(1) 災害時等に、ランプ等で危険を知らせるシステムを設置してほしい。	※	※	※
9 電気設備	(1) アナウンスが聞こえない場合があるため、電光掲示板を設置してほしい。	×	×	×
10 駐車場・駐輪場	(1) 障害者用駐車場には、一部屋根を設置してほしい。			
	(2) 車止めがあると、車の後部ハッチから車いすを出し入れするスロープやリフトが降ろせないため、車止めの高さについて配慮してほしい。			
	(3) 車止めの幅が広すぎて、その間を車いすが通れないことがあるので、車いすが通れる幅を確保してほしい。			
	(4) 一般車用と障害者用で区別しすぎると、障害者が多く集まる大会等を行った場合に、かえって使いにくい場合があるため、考慮してほしい。			
11 バス停留所	(1) 障害者や中高生等は、公共交通機関で来ることが多いため、競技場の近くにバス停を設置し、十分な便数が発着できるようにしてほしい。	※	※	※
12 ゾーニング・動線計画	(1) 駐車場からウォームアップ場、管理棟、競技場までが、バリアフリーでコンパクトな動線になるように整備してほしい。			
	(2) トラック内に建物や樹木の影が映ると、トラックのラインの視認性が悪くなり競技に影響が出るため、建物や樹木の配置を考慮してほしい。			
13 案内・サイン・ピクトグラム	(1) 大きくて色が目立つ案内表示やピクトグラムを設置してほしい。			
	(2) 動線上に、センサーの音声案内やデジタルサイネージを設置してほしい。	※	※	※
	(3) 入口から受付まで等、メインとなる動線には必ず点字ブロックを敷いてほしい。			
	(4) 点字ブロックの色は、床と判別しやすい色にしてほしい。			
	(5) 点字ブロックの高さは、新国立競技場の例を参考に検討してほしい。			
	(6) 点字ブロック以外にも、視覚障害者用の誘導マットといった製品もあるので、導入を検討してほしい。	※	※	※
14 障害者スポーツ	(1) 障害者スポーツに関する情報を広く周知してほしい。			
	(2) 平日の日中等に、気軽に障害者スポーツができる環境を整えてほしい。	※	※	※
	(3) 障害者が安心して利用できるよう、障害者手帳を持っている人のみが利用できる日を不定期でも設けてほしい。	※	※	※
	(4) 障害者スポーツの練習、イベントや大会等の予約が取りやすいようにしてほしい。	※	※	※
	(5) 障害者が一人で施設を利用できるように、サポーターの設置を検討してほしい。	※	※	※
	(6) 障害の有無に関わらず誰もが気軽に参加できる競技会の開催を検討してほしい。	※	※	※
	(7) 聴覚障害者用のランプ式スタートシステム等、各種障害者スポーツ用の用具を充実させてほしい。	※	※	※
15 その他	(1) 競技場のスタッフには、障害平等研修（DFT）、視覚障害や聴覚障害等の体験研修を受講してもらいたい。			
	(2) 施設の設計は、「Tokyo2020 アクセシビリティガイドライン」や「大阪・関西万博ユニバーサルデザインガイドライン」等の基準で設計してほしい。			
	(3) 有識者や当事者が、設計図面をチェックできるようにしてほしい。			

陸上競技・大会運営に関するワークショップ 意見・提案一覧表

無印：対応可、△：一部対応可、×：不对応、※：今後対応を検討

項目	内容	α	β	γ
1 陸上競技場本体	(1) 風の影響がある場合や複数の競技を同時に実施できるように、トラックの形状や固定式の写真判定装置等、逆走設定が可能なように整備してほしい。			
	(2) 防風対策として、ゲートやフェンスを用いて風をコントロールできる設備の設置を検討してほしい。	×	×	×
	(3) スタートブロックやハードル等、競技に必要な道具や備品は、通常の1.5倍から2倍程度多めに数を用意してほしい。	※	※	※
	(4) 子供用のハードルを用意してほしい。	※	※	※
	(5) トラックの舗装色は、夏場に高温になりにくい青色にしてほしい。			
	(6) 電子音スターターシステムの導入と、それに必要な電源を整備してほしい。			
	(7) 自動タイム計測機、LEDによる記録再現機能、光波距離計や投擲シミュレーター等、「科学の街つくば」にふさわしい最新設備を導入してほしい。	※	※	※
	(8) 投てき場のネットは、視認性向上のため黒色にしてほしい。			
	(9) 雨天時に、トラック内に水が溜まらないように整備してほしい。			
2 観客席	(1) 雨天時や夏場の暑さ対策として、観客席に屋根を設置してほしい。	△		△
	(2) 2階、3階へは、バリアフリー対応のスロープを設置してほしい。	×	×	
	(3) 芝生スタンドは雨天時に使用できなくなるため、バックスタンド側にも観客席を設置してほしい。また、その下に雨天走路を設置してほしい。	×	△	
3 管理棟	(1) 管理棟内に、雨天走路を設置してほしい。	×	×	×
	(2) 雨天時や夏場の暑さ対策として、管理棟の周囲に屋根を設置してほしい。			
	(3) トイレ、更衣室やシャワー室は、男女で距離を離して設置してほしい。	△		
	(4) コインロッカーを設置してほしい。			
	(5) ウェイトトレーニングルームを設置してほしい。	×		
	(6) 管理棟内に、人が滞留できるようなスペースを設置してほしい。	×		
4 多目的広場	(1) 雨天走路は、大会時にウォーミングアップで人数が集中するため、80m程で5レーン以上設置してほしい。	×		
	(2) 雨天走路の延長線上に、雨天時や夏場の暑さ対策等、多目的に使える広めの屋根付きスペースを設置してほしい。	×		
	(3) トラック内では投てきの練習が制限されるため、投てきの練習場を整備してほしい。	※	※	※
	(4) 多目的広場でも練習やウォーミングアップができるように、スタートブロックやハードル等の道具及び倉庫を設置してほしい。	×		
	(5) 健康増進のための簡易な運動器具を設置してほしい。	※	※	※
5 園路（ジョギング・ウォーキングコース）	(1) ジョギングでどれくらい走ったかが分かるように、1周1kmや2km等、切りの良い数字に設定してほしい。			
	(2) 健康増進のため、コース上にアップダウンを設置してほしい。			
	(3) 夜間も安心して使用できるようにするため、適度な照明を設置してほしい。			
	(4) コースは、タータン又はウッドチップで整備してほしい。	※	※	※
	(5) ジョギングとウォーキングが分けられたコースを設置してほしい。	×	×	×
	(6) 夏場の暑さ対策や景観向上のため、コース付近には樹木や植栽を整備してほしい。			

陸上競技・大会運営に関するワークショップ 意見・提案一覧表

無印：対応可、△：一部対応可、×：不対応、※：今後対応を検討

6	トイレ	(1) 災害時にはトイレが不足するため、簡易（携帯）トイレの備蓄も含め、十分に整備してほしい。	△	△	
7	駐車場・駐輪場	(1) 大会を行う場合には、相当な人数が車で来場することが想定されるため、駐車場を800台程度は設置してほしい。	△	△	△
8	バス停留所	(1) 路線バスでの来場者が多いと考えられるため、バス停留所を設置してほしい。	※	※	※
9	大会運営	(1) 地震・火災等の災害やJアラートなどで避難が必要な場合を想定して、安全対策マニュアル等を用意してほしい。			
		(2) 大会での盗撮対策として、撮影可能エリアの設置や、報道関係者以外の望遠レンズの持ち込み禁止等のルールを設けてほしい。			
10	その他	(1) 長距離種目等で良い記録を出やすくするために、ナイター競技大会の開催を検討してほしい。	×		
		(2) 競技場や園路を使って、リレーマラソン大会等の開催を検討してほしい。	※	※	※
		(3) 陸上競技をやったことがない人でも、気軽に使ってみようと思えるような、良い意味で敷居の低い競技場にしてほしい。	※	※	※
		(4) 仕事帰りや部活動などで使用できるように、20時位まで開館してほしい。	×		
		(5) 一部の団体による独占的な使用を避けるため、大会以外は専用での使用はしないでほしい。	※	※	※
		(6) 一般市民の方も計測できるように、月1回程度、計測可能な日を設けてほしい。	※	※	※